

令和6年度

# 八戸の社会教育

(令和5年度実績)

八戸市教育委員会



## 市 章

本市の市章は「八戸」の二文字と旧南部藩の“向鶴<sup>むかいづる</sup>の紋<sup>もん</sup>”をもとにして図案化したもので昭和6年に一般から募り制定しました。

## 八 戸 市 民 憲 章

わたくしたちは 伝統と未来をもつ八戸市の市民です。  
わたくしたちは このまちをいっそう立派にするために  
市民憲章をさだめます。

- 1 郷土を愛し 文化の高いまちにしましょう
- 1 元気ではたらき 豊かなまちにしましょう
- 1 あすをつくる子どものしあわせなまちにしましょう
- 1 みんなに親切にし 明るいまちにしましょう
- 1 心をあわせ 安全なまちにしましょう

(昭和44年8月20日制定)

# 目 次

1	八戸市の概況	1
2	機構図及び予算	
	・八戸市教育委員会機構図	2
	・令和6年度 社会教育関係予算	3
3	第3期 八戸市教育振興基本計画	4
4	事業・施設等概要	
	◇社会教育課	
	・社会教育グループ 事業概要	6
	・八戸市民大学講座講師一覧	7
	・勤労青少年ホーム（ジョイパーク八戸）	8
	・地区公民館	9
	・文化財グループ 事業概要	18
	・文化財一覧（国指定・県指定・市指定）	20
	◇教育総務課・学校教育課・教育指導課	
	・事業概要	24
	◇八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館	
	・事業概要 （是川縄文館、是川縄文館 分館（縄文学習館））	25
	◇総合教育センター	
	・事業概要 （総合教育センター、視聴覚センター・児童科学館、視聴覚ライブラリー）	27
	◇図書館	
	・事業概要 （八戸市立図書館（本館）、八戸市立南郷図書館（分館）、 八戸市図書情報センター（分館））	30
	◇博物館	
	・事業概要 （八戸市博物館、南郷歴史民俗資料館、史跡根城の広場）	34
	◇文化創造推進課	
	・事業概要 （八戸市文化教養センター（南部会館）、八戸市公会堂、 八戸市公民館（八戸市公会堂文化ホール）、 八戸市南郷文化ホール（スウィングベリーNANGO）、 八戸南部氏庭園、八戸市立集会場（更上閣・更上閣にぎわい広場））	39
	・八戸市文化賞、文化奨励賞受賞者名簿	45
	◇美術館	
	・事業概要	47
5	委員名簿	52
	・八戸市教育委員会委員	
	・八戸市社会教育委員	
	・八戸市文化財審議委員	
	・八戸市天然記念物蕪島ウミネコ繁殖地保存活用計画検討会議委員	
	・八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館運営協議会委員	
	・八戸市博物館協議会委員	
	・八戸市青少年問題協議会委員	

## 1 八戸市の概況

八戸市は、太平洋に臨む青森県の南東部に位置し、北はおいらせ町及び五戸町、西は南部町、南は階上町及び岩手県軽米町に接しています。

地形は、なだらかな台地に囲まれた平野が太平洋に向かって広がり、その平野を三分する形で馬淵川、新井田川の2本の川が流れています。

臨海部には、大規模な工業港、漁港、商業港が整備され、背後に工業地帯が形成されています。

気候は、夏は偏東風（ヤマセ）の影響を受けると冷涼で、冬は晴天が多く乾燥しています。また、北東北にありながら降雪量が少なく、日照時間が長いことも特徴となっています。

八戸地方には、国宝、国指定重要文化財、重要無形文化財など、数多くの文化財があります。中でも、技巧的にも芸術的にも優れた出土品が多い縄文時代の是川遺跡・風張1遺跡や、平成30年10月にその出土品が国指定重要文化財に指定された、飛鳥時代中頃から平安時代前期にかけての群集墳である丹後平古墳群などにより、古くから高い文化をもつ人々が生活していたと考えられています。

建武元年（1334年）、南朝方の命を受けた甲斐の国の南部師行が、現在の八戸市根城に北東北を治める拠点を決めました。

藩政時代になり、八戸は一時、盛岡藩の支配下に入りましたが、寛文4年（1664年）、南部直房を初代とする2万石の八戸藩が誕生し、城下は商業や八戸港の交易によって栄えました。

明治22年（1889年）に町村制施行によって八戸町となり、昭和4年（1929年）5月1日に、近隣の2町1村と合併し、人口約5万2千人の八戸市が誕生しました。その後、周辺7村との合併により市域を広げ、優れた漁港施設や背後施設を有する全国屈指の水産都市として、また北東北随一の工業都市として、着実に発展を遂げてきました。

平成29年（2017年）1月には、中核市へ移行し、市民サービスの向上のほか、同年3月には近隣7町村と連携中枢都市圏を形成するなど、広域的な連携にも取り組んでいます。

近年では、令和5年（2023年）5月24日、種差海岸が三陸復興国立公園に指定されて10周年を迎え、持続可能な利用と次世代への継承について決意を新たにしました。

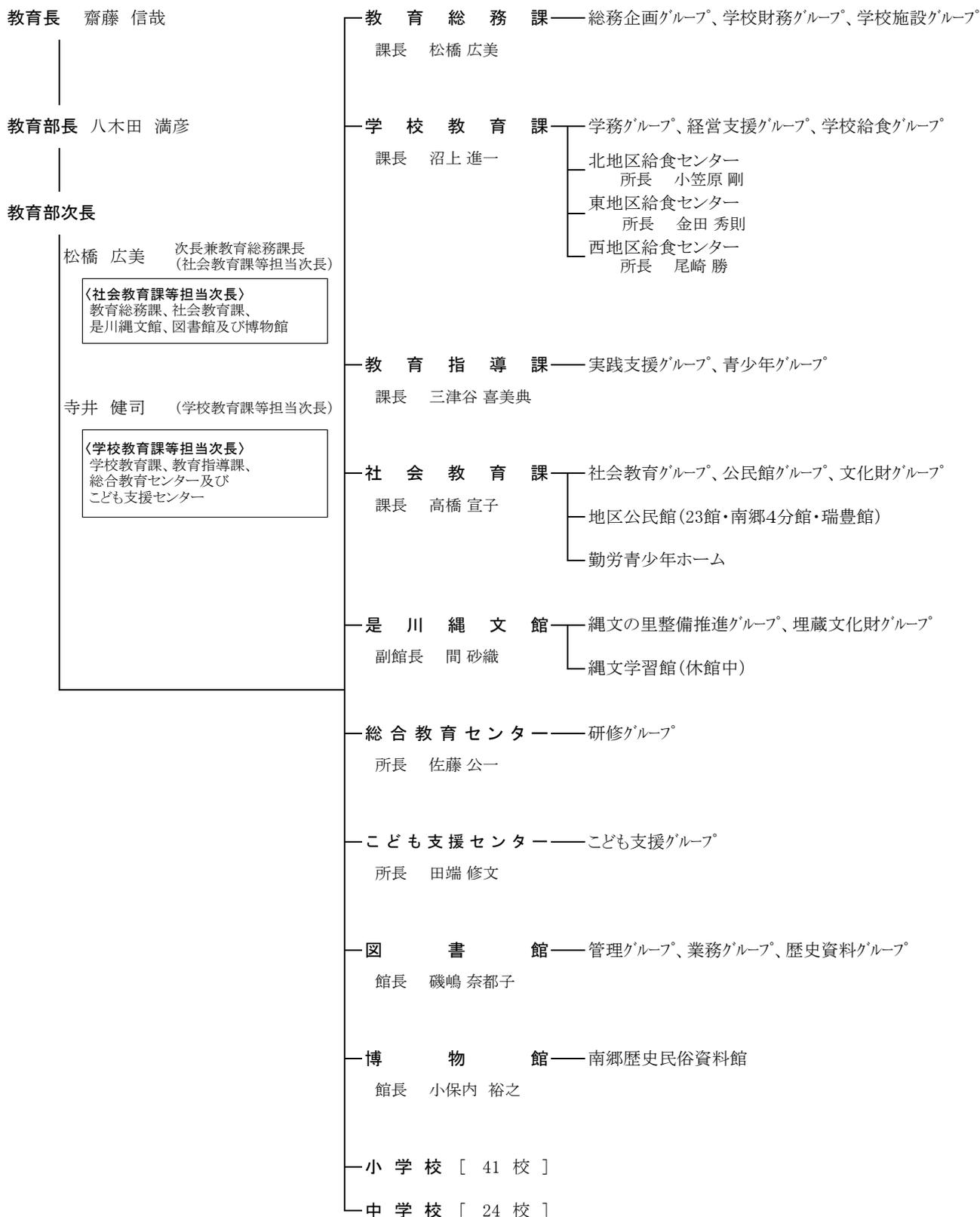
また、全国市長会などが主催する第85回全国都市問題会議が同年10月12日、13日に開催され、「文化芸術・スポーツが生み出す都市の魅力と発展」をテーマに、全国の自治体関係者と学者、研究者ら約1,800人が一堂に会し、都市問題や地方自治について討議したほか、文化芸術交流拠点「八戸ブックセンター」や「はっち」、「是川縄文館」、名勝「種差海岸」などを巡り、当市の文化、歴史、自然等に触れました。

# 八戸市教育委員会機構図

令和6年10月1日現在

教育委員会	
教育長	齋藤 信哉
委員	福井 武久
委員	西山 康巳
委員	小澤 直子
委員	久保 千恵子

事務局所在地 〒031-8686 八戸市内丸一丁目1-1  
 TEL 0178-43-2111  
 0178-43-9274(教育総務課直通)  
 FAX 0178-47-4997(教育総務課)



令和6年度 社会教育関係予算（当初予算）

（単位：千円）

予算費目		6年度 予算額	5年度 予算額	増減額
労働費	勤労青少年ホーム費	18,290	15,976	2,314
教育費	社会教育費			
	社会教育総務費	286,051	272,211	13,840
	青少年対策費	34,513	12,770	21,743
	公民館費	499,082	498,941	141
	図書館費	437,754	368,330	69,424
	視聴覚センター費	386,397	268,942	117,455
	博物館費	257,288	232,654	24,634
	南部会館費	7,353	14,298	△6,945
	美術館費	371,375	340,219	31,156
	文化財保護費	44,809	38,426	6,383
	文化財調査費	87,671	85,993	1,678
	是川縄文の里事業費	313,873	234,207	79,666
	八戸南部氏庭園事業費	6,804	5,187	1,617
	史跡根城の広場費	115,272	106,051	9,221
	公会堂費	289,779	286,801	2,978
	文化ホール費	3,884	3,639	245
	市民大学講座費	7,781	7,783	△2
	ブックセンター費	107,263	98,519	8,744
	更上閣費	15,815	14,275	1,540

# 第3期 八戸市教育振興基本計画

## 1 基本理念

### 夢はぐくむ ふれあいの教育 八戸

「夢はぐくむ ふれあいの教育 八戸」は、平成12(2000)年に学校教育の基本理念として掲げられ、平成15(2003)年に策定された「八戸市教育プラン」においては、当市の教育全ての分野における基本理念とされました。

そして、平成25(2013)年に策定された第1期八戸市教育振興基本計画や平成30(2018)年に策定された第2期八戸市教育振興基本計画においても基本理念と位置づけ、「生きる力」の源となる「夢」、人と人との絆を結ぶ「ふれあい」、郷土「八戸」に対する誇りと愛着を育む教育の実現のために様々な施策に取り組んできました。

時代の変化により、教育を取り巻く環境は大きく変わっていますが、「生きる力」の源となる「夢」、人と人との絆を結ぶ「ふれあい」、郷土「八戸」に対する誇りと愛着を育むことは、当市の教育において普遍的な考えと言えるものであることから、第3期八戸市教育振興基本計画においても、「夢はぐくむ ふれあいの教育 八戸」を教育における基本理念とします。

## 2 基本理念の目指す教育の姿

現代は、将来を予測することが困難な時代ですが、そのような中でも、教育の持つ普遍的な使命のもと、学校や地域と連携し自らの力で課題を解決できる人材の育成や、人と人とのつながりの中で生きていく環境整備など、教育を通じて取り組むべきものはたくさんあります。第3期八戸市教育振興基本計画においても、「生きる力」の源となる「夢」、人と人との絆を結ぶ「ふれあい」、郷土「八戸」に対する誇りと愛着を育み、市民のウェルビーイングの向上につなげるため、基本理念の目指す教育の姿を次のとおりとします。

**自ら学び、心身ともに豊かに生きる教育**  
**郷土を愛し、郷土とともに生きる教育**

### 3 施策の体系

第3期八戸市教育振興基本計画においては、基本理念及び基本理念の目指す教育の姿を踏まえた施策を、大施策、中施策、小施策の3つの階層に体系化しています。

大施策は基本となる施策であり、大施策ごとに現状と課題を示し、そこから必要とされる施策の方向性を中施策とし、中施策実現のために実施する施策を小施策としています。

大 施 策 基本理念及び基本理念の目指す教育の姿を踏まえた基本となる施策	中 施 策 大施策における現状と課題から必要とされる施策の方向性	小 施 策 中施策実現のために実施する施策
1 持続可能な社会を創るための資質・能力の育成	(1) 確かな学力の育成	① 次世代を担う人材育成 ② 主体的・対話的で深い学びを実現する授業の展開 ③ 校種間連携の充実
	(2) 豊かな心の育成	① いのちの教育の充実 ② 体験学習の充実 ③ 読書活動の充実
	(3) 健やかな体の育成	① 学校保健・食育の充実 ② 体力の向上
2 共生社会の実現に向けた支援の充実	(1) 多様な教育ニーズへの対応	① 特別支援教育の充実 ② 子どもに関する相談・支援体制の充実
	(2) 経済的支援の充実	① 奨学金事業の充実 ② 就学前・高等学校教育への支援
3 学びを支える学習環境・指導体制等の整備	(1) 安全・安心な環境の整備	① 学校施設の整備 ② 学校規模・配置の適正化 ③ 防災教育の充実
	(2) 指導・運営体制の充実	① 教職員研修の充実 ② 支援スタッフの充実 ③ 教育DX <sup>※</sup> の推進
4 地域の教育力向上と地域コミュニティの基盤強化	(1) 学校・家庭・地域の連携・協働	① コミュニティ・スクール <sup>※</sup> の推進 ② 家庭の教育力の向上 ③ スポーツ・文化的活動の支援
	(2) 生涯学習の充実	① 多様な学習機会の提供 ② 講座・展覧会等の開催
	(3) 社会教育施設の機能強化	① 社会教育施設の機能強化
5 文化財等の保存と活用の充実	(1) 文化財の保存活用	① 史跡の整備活用の推進 ② 文化財・名勝等の保存管理、活用の充実 ③ 民俗文化財の保存継承の充実 ④ 考古資料と遺跡の調査研究の充実
	(2) 歴史記録の保存活用	① 歴史記録の保存活用の充実

※教育DX デジタル技術を活用した教育活動や学校運営等の効果的・効率的な推進と新たな価値の創出を指す。

※コミュニティ・スクール 学校運営協議会を設置した学校のことであり、学校と地域住民等が力を合わせて学校の運営に取り組むことが可能となる「地域とともにある学校」を目指すための仕組み。

## 4 事業・施設等概要

### ◇社会教育課

#### 社会教育グループ 主要事業

事業名	内容	令和5年度実績
八戸市民大学講座事業	各分野における専門家や八戸市に縁のある方などを講師に迎えた講座を開催する。	実施期間：5月24日（水）～11月16日（木） 講義数：10講義 受講者数：2,094人 修了者数：60人
社会教育関係運営事業 ・社会教育委員の会議  ・社会教育関係団体への助成	社会教育法第16条及び八戸市社会教育委員に関する条例に基づき社会教育委員を委嘱し、社会教育に関する諸計画の審議等を行う。  八戸市連合父母と教師の会への補助。	第1回：5月24日（水） 第2回：2月8日（木） 委員数：15人  補助金額：350千円
家庭の教育力充実事業	○家庭教育研修会の開催 家庭教育や子育てに関する専門家を講師に招き、教育関係者や一般市民を対象に研修会を開催する。  ○子育て・親育ち講座の開催 市内認定こども園、幼稚園、保育園、小中学校及びPTAを実施主体として家庭教育に関する講座を実施する。  ○幼稚園家庭教育学級の委託 幼児を持つ親及び幼児を対象とする講習会、研修会等の開催を八戸市私立幼稚園協会に委託する。	第1回及び第2回は、八戸市民大学講座第3講義、第10講義と併催。 計2回の受講者数：413人  21講座 実施校：小学校20校 参加者数：4,819人  私立幼稚園20園 参加者数：1,318人
放送大学運営支援事業	ユートリー内に設置の八戸サテライトスペースの運営支援を行う。（市が賃料半額負担及び放送大学が雇用する補助職員2名の人件費を負担）	令和5年度 八戸サテライト在籍者数 第1学期 278人 第2学期 279人
成人式開催事業	○はたちの成人代表者と市長との懇談会 新成人代表者が市長との話し合いを通じて、郷土八戸についての理解を深めるとともに、明日を担う青年としての誇りと自覚を高める。  ○成人式～二十歳の記念式典～の実施 （令和5年度開催分） 対象者 H15.4.2～H16.4.1 生	日時：11月19日（日） 場所：八戸グランドホテル 参加者数：新成人代表者 10人  日時：令和6年1月7日（日） 場所：八戸市公会堂 参加者数：1,566人
海洋研究開発機構研究成果活用経費	市民の海洋科学への関心を高めることを目的として国立研究開発法人海洋研究開発機構（JAMSTEC）の協力を得ながら、船舶の一般公開やJAMSTECの研究成果の展示及び発表、小中学生向けの出前授業の開催など、海洋に関する事業を実施する。	JAMSTEC職員による出前授業 2小学校、4中学校 計6校
勤労青少年ホーム管理運営事業（※）	勤労青少年の保護及び福祉の増進を図り、中小企業の労働生産性の向上に資するため、教養講座の開設や余暇活動の支援を行う。	通年講座 98回 短期講座 20回 各種スポーツ活動 321回 その他個人・団体利用 244回 年間利用人数 6,252人

※令和5年度までは教育指導課所管

令和5年度 八戸市民大学講座講師一覧

NO.	月日	曜日	会場	講師肩書き	講師	演題	受講者数
1	5月24日	水	公会堂	俳優	いちげ よしえ 市毛 良枝	山と出合って開いていった新しい扉	304人
2	6月29日	木	公会堂	女優、経営者、研究者	いとう まい子 いとう まい子	『学び直し』のすすめ ～新たなキャリアを切り拓く～	254人
3	7月5日	水	文化ホール	NPO法人親子コミュニケーション ラボ代表理事	あまの ひかり 天野 ひかり	コミュニケーション上手になろう！ ～人付き合いが楽しくなる言葉の使い方・子どもに届く話し方～	150人
4	7月25日	火	文化ホール	国立研究開発法人 海洋研究開発機構理事	くらもと しんいち 倉本 真一	「海」から学ぶ私たちの未来	165人
5	8月22日	火	公会堂	株式会社感性リサーチ 代表取締役社長	くろかわ いほこ 黒川 伊保子	「感性コミュニケーション ～男女のミゾを科学する～」	294人
6	8月31日	木	文化ホール	合同会社ソナエルワークス代表 備え・防災アドバイザー	たかに ともや 高荷 智也	「想定外を想定内に 八戸とわが家周辺で生じる災害を知り、 家庭の防災へ生かす方法を学ぶ」	128人
7	9月29日	金	文化ホール	八戸市美術館館長、 日本大学理工学部建築学科教授	さとう しんや 佐藤 慎也	～ものから人へ 美術作品と建築の変遷～ 世界の美術館の話	100人
8	10月3日	火	文化ホール	映画監督、 ノンフィクション作家	のぶとも なおこ 信友 直子	「認知症が私たち家族にくれたギフト」	163人
9	10月23日	月	文化ホール	弁護士	きくち ゆきお 菊地 幸夫	仕事も家庭も一生懸命 ～菊地流ワーク・ライフ・バランス～	273人
10	11月16日	木	公会堂	落語家	やなぎや かりく 柳家 花緑	発達障害は私にとってギフトでした!! ～発達障害落語家誕生～	263人
合計							2,094人

○ 講演時間 18時30分から20時まで

※第1講義は18時15分から開講式、第10講義は18時15分から修了式を実施

昭和45年度～令和5年度までの累計

年間総受講者数 (主会場)	地区公民館受講者数 (旭ヶ丘会館舎)※H1～H17	累計	内修了者数
374,317人	6,338人	<b>380,655人</b>	22,757人

## 勤労青少年ホーム（ジョイパーク八戸）

勤労青少年の保護及び福祉の増進を図り、中小企業の労働生産性の向上に資するため、昭和40年に開館した。

- ・所在地 八戸市沼館二丁目13-20 TEL 22-8612
- ・利用方法 開館時間：午後1時～午後9時  
休館日：日曜日、祝日、年末年始（12月28日から1月4日）  
利用者：市内に勤務先のある概ね35歳以下の人  
利用料：無料（講座などに参加する場合、実費の徴収もある）  
利用手続：ホーム利用申請書に必要事項を記入のうえ、ホーム窓口へ提出

### 主要事業

主要事業	実施月	令和5年度実績
通年講座	4月～3月	・バレエストレッチ教室（33回） ・生花教室（33回）・茶道教室（32回）
短期講座	5月～7月 11月～1月	・初心者のためのヨガ教室（計20回）
各種スポーツ活動	4月～3月	・バスケットボール・バレーボール・バドミントン等

### 利用状況（令和5年度 年間利用人数 6,252人）

ホーム主催事業				各種スポーツ活動		その他個人・団体利用	
講座		その他					
回数	参加人数	回数	参加人数	回数	参加人数	回数	人数
118	679	0	0	321	3,802	244	1,771

## 地区公民館

### 基本方針

豊かでうるおいのある生涯学習社会の形成に向け、地域住民の教養の向上、健康増進、生活文化の振興、社会福祉の増進など総合的に応える社会教育施設としての公民館の機能を充実し、生涯学習の推進に努める。

- (1) 住民の生きがいとなるように施設、設備、情報等を積極的に提供し、世代間の連帯感を強め、地域生活に根ざした事業を行う。
- (2) 生涯学習に生きる生活態度の養成、特に、共同学習や文化活動の相互啓発の機会を設け、生活文化を高める事業を行う。

### 重点施策と主要事項

重点施策	主要事項
(1) 各種学級の開設及び文化的行事の開催	①公民館活動教室・青年学級・女性学級・高齢者教室・市民学校・家庭教育学級・移動公民館・市民IT講習会の実施 ②子育て支援事業の推進 ③学習活動の成果発表（文化祭・芸能祭等） ④地域文化・伝統行事の支援
(2) より良い学習内容、方法等の開発	①地域の特性を活かした公民館活動推進 ②特色ある講座・教室の開発 ③視聴覚教材を利用した講座・教室の実施
(3) 公民館自主クラブ等の育成・支援	①公民館自主クラブの育成 ②地域関係団体の自主活動事業の支援
(4) 公民館職員の資質向上	①地区公民館への指導助言 ②公民館職員の研修
(5) 公民館の施設・設備等の整備及び充実	①公民館施設・設備の整備充実
(6) 学習情報提供・学習相談体制の整備	①学習情報の収集・提供 ②学習機会情報の提供
(7) 各関連施設・機関との連携、協力	①青森県公民館連絡協議会・三八地方公民館連絡協議会・三八社会教育委員連絡協議会との連携協力を努める。
(8) 地域コミュニティ活動の促進	①地区公民館を核としたまちづくりや地域活性化のための拠点作り ②地域づくりに取り組む人材の育成や団体の組織化の支援

地区公民館一覽（全24館）

※市長部局所管の八戸市公民館、八戸市福祉公民館を除く。

公民館名（設置年度） 住所・構造・建設年度・建設面積	公民館名（設置年度） 住所・構造・建設年度・建設面積
<b>小中野公民館</b> （昭和27年） 小中野五丁目2-17 TEL 22-2877 鉄筋 平成26年度 1,970.90㎡ 敷地面積 1,553.40㎡	<b>三八城公民館</b> （昭和34年） 城下三丁目1-17 TEL 45-2566 鉄筋 昭和56年度 803.75㎡ 敷地面積 1,801.80㎡
<b>白銀公民館</b> （昭和38年） 白銀三丁目2-14 TEL 33-1633 鉄筋 平成4年度 899.81㎡ 敷地面積 2,036.49㎡	<b>江陽公民館</b> （昭和51年） 江陽二丁目18-34 TEL 45-4571 鉄筋 平成28年度 900.00㎡ 敷地面積 1,759.09㎡
<b>鮫公民館</b> （昭和44年） 鮫町字住吉町14-1 TEL 33-1942 鉄筋 昭和61年度 809.84㎡ 敷地面積 1,072.31㎡	<b>長者公民館</b> （昭和52年） 糠塚字下道2-1 TEL 45-4801 鉄筋 昭和51年度 1,103.70㎡ 敷地面積 2,020.98㎡
<b>上長公民館</b> （昭和30年） 一番町一丁目4-1 TEL 23-3237 鉄筋 昭和60年度 747.96㎡ 敷地面積 1,321.63㎡	<b>田面木公民館</b> （昭和26年） 田面木字上野道下夕30-1 TEL 27-3333 鉄筋 昭和52年度 674.22㎡ 敷地面積 1,315.00㎡
<b>柏崎公民館</b> （昭和44年） 柏崎三丁目13-5 TEL 43-9139 鉄筋 昭和59年度 817.46㎡ 敷地面積 1,638.90㎡	<b>市川公民館</b> （昭和54年） 市川町字赤畑19-2 TEL 52-2319 鉄筋 昭和53年度 534.00㎡ 敷地面積 1,009.98㎡
<b>大館公民館</b> （昭和33年） 新井田字常光田17-1 TEL 25-3331 鉄筋 昭和50年度 699.80㎡ 敷地面積 1,939.99㎡	<b>南浜公民館</b> （昭和55年） 鮫町字棚久保14-48 TEL 39-3036 鉄筋 昭和54年度 560.85㎡ 敷地面積 1,192.18㎡
<b>下長公民館</b> （昭和27年） 下長一丁目4-9 TEL 28-8863 鉄筋 昭和55年度 540.00㎡ 敷地面積 966.01㎡	<b>根岸公民館</b> （平成元年） 高州二丁目23-1 TEL 20-4894 鉄筋 昭和63年度 804.94㎡ 敷地面積 1,977.29㎡
<b>吹上公民館</b> （昭和46年） 吹上三丁目17-3 TEL 43-2931 鉄筋・鉄骨 平成2年度 853.52㎡ 敷地面積 1,645.88㎡	<b>白銀南公民館</b> （平成7年） 大久保字行人坂36-6 TEL 35-6810 鉄筋 平成6年度 820.28㎡ 敷地面積 1,695.98㎡
<b>湊公民館</b> （昭和47年） 湊町字中道64-7 TEL 33-4411 鉄筋 平成7年度 818.81㎡ 敷地面積 995.98㎡	<b>東公民館</b> （平成9年） 新井田字八森平7-67 TEL 25-2951 鉄筋 平成8年度 820.39㎡ 敷地面積 1,840.84㎡
<b>是川公民館</b> （昭和48年） 是川字東前田3-11 TEL 96-1219 鉄筋 平成29年度 911.87㎡ 敷地面積 3,408.45㎡	<b>白山台公民館</b> （平成22年） 北白山台五丁目2-5 TEL 38-9788 鉄筋 平成21年度 885.38㎡ 敷地面積 2,857.70㎡
<b>館公民館</b> （昭和48年） 八幡字下陳屋40-1 TEL 27-5431 鉄筋 平成28年度 859.79㎡ 敷地面積 1,368.61㎡	<b>南郷公民館</b> （昭和53年） 南郷市野沢字黒坂7-2 TEL 82-3385 鉄筋 昭和53年度 2,384.35㎡ 敷地面積 8,276.54㎡ 分館：頃巻沢・中野・古里・緑の各館 ※平成17～20年度：教育委員会南郷事務所が所管
<b>根城公民館</b> （昭和49年） 根城三丁目11-22 TEL 44-6927 鉄筋 平成28年度 934.50㎡ 敷地面積 1,610.31㎡	<b>瑞豊館</b> （昭和55年） 豊崎町字上永福寺130-1 TEL 23-2618 鉄筋 昭和55年度 1,143.94㎡ 敷地面積 6,428.26㎡

## 令和5年度 地区公民館利用状況

館名	主催事業 (各種講座)		共催事業 (文化祭など)		貸館(減免)				貸館 (有料・その他)		合計	
					教育関係団体		教育関係以外					
	件数	参加者数	件数	参加者数	件数	利用者数	件数	利用者数	件数	利用者数	件数	利用者数
小中野	62	726	6	1,073	860	14,415	180	3,770	479	5,263	1,587	25,247
白銀	69	711	30	1,307	837	10,261	131	4,163	118	947	1,185	17,389
鮫	76	711	18	650	693	9,398	186	4,098	188	2,031	1,161	16,888
上長	75	851	5	280	743	8,500	114	2,558	388	3,493	1,325	15,682
柏崎	54	510	7	664	956	13,090	97	4,268	163	1,780	1,277	20,312
大館	70	2,175	44	2,071	894	10,760	168	4,006	274	3,287	1,450	22,299
下長	72	860	12	852	954	11,104	401	4,295	34	533	1,473	17,644
吹上	59	631	31	1,001	650	9,786	147	2,721	185	1,838	1,072	15,977
湊	82	724	11	625	487	4,918	180	4,583	181	1,684	941	12,534
是川	48	379	6	716	475	7,381	64	1,365	58	1,056	651	10,897
館	52	407	11	410	450	3,789	85	1,591	66	613	664	6,810
根城	70	990	14	1,495	1,029	15,034	206	4,018	678	7,191	1,997	28,728
三八城	64	780	12	644	438	5,479	206	2,978	274	2,134	994	12,015
江陽	71	834	8	440	663	8,587	100	2,102	389	3,607	1,231	15,570
長者	47	263	11	613	974	11,700	147	3,077	263	2,875	1,442	18,528
田面木	60	732	9	839	595	7,625	115	1,549	156	1,853	935	12,598
市川	48	598	0	0	444	5,828	118	1,766	248	2,904	858	11,096
南浜	43	477	35	2,589	219	2,916	53	1,064	12	587	362	7,633
根岸	110	1,528	29	1,406	789	11,864	94	2,042	94	857	1,116	17,697
白銀南	46	428	375	3,192	706	8,777	120	2,468	48	393	1,295	15,258
東	57	644	22	1,798	796	12,104	117	3,205	194	2,460	1,186	20,211
白山台	79	849	26	1,683	1,082	16,812	276	5,516	709	7,905	2,172	32,765
南郷	57	490	2	2,919	87	2,774	56	3,997	22	282	224	10,462
頃巻沢	—	—	—	—	0	0	1	6	0	0	1	6
中野	—	—	—	—	12	66	9	118	1	20	22	204
古里	—	—	—	—	0	0	5	75	0	0	5	75
緑	—	—	—	—	0	0	10	167	6	6	16	173
瑞豊館	44	372	7	266	476	9,440	76	1,175	31	237	634	11,490
合計	1,515	17,670	731	27,533	16,309	222,408	3,462	72,741	5,259	55,836	27,276	396,188
平均	63	736	30	1,147	582	7,943	124	2,598	188	1,994	974	14,150

※主催事業(各種講座)には、IT体験コーナー等の件数を含む。

事業内容及び実施状況(令和5年度実績)

○公民館活動教室

教室名	学習時間	参加人数(延べ)	学習内容
小中野	23 時間	107 人	介護予防体操教室、南部弁講座 他
白 銀	32 時間	166 人	健康麻雀、PPバンド教室 他
鮫	25 時間	99 人	陶芸教室、ウクレレ教室 他
上 長	24 時間	68 人	焼き物教室、切り絵教室 他
柏 崎	23 時間	117 人	ビューティー講座、バルーン教室 他
大 館	17 時間	196 人	ふるさとウォーク、まちづくりゼミナール 他
下 長	32 時間	158 人	菱刺し教室、男の料理教室 他
吹 上	30 時間	110 人	クラフトバック教室、法的契約講座 他
湊	31 時間	106 人	三味線教室、くるみ絵教室 他
是 川	30 時間	170 人	歴史講話、陶芸教室 他
館	26 時間	109 人	写経教室、ノルディックウォーク 他
根 城	17 時間	149 人	AED講習会、郷土料理教室 他
三八城	28 時間	278 人	レクリエーション、カラーコーディネート 他
江 陽	22 時間	82 人	草木染教室、筆ペン教室 他
長 者	24 時間	86 人	ストレッチ教室、習字教室 他
田面木	20.5 時間	166 人	伝承行事(八皿)、頭皮マッサージ教室 他
市 川	20 時間	100 人	ポーセラーツ教室、片付け講座 他
南 浜	12 時間	89 人	輪踊り教室、そば打ち教室 他
根 岸	40 時間	343 人	卓球教室、苔テラリウム教室 他
白銀南	18 時間	81 人	男の料理教室、ストレッチ教室 他
東	24 時間	131 人	こけ玉作り教室、体操教室 他
白山台	14 時間	69 人	英会話教室、種差海岸の植物講話 他
南 郷	58 時間	169 人	かつお節教室、養生気功教室 他
瑞豊館	23 時間	211 人	杏甘酢漬け教室、アンサンブルコンサート 他
計	613.5 時間	3,360 人	

○青年学級

学級名	学習時間	参加人数(延べ)	学習内容
根 城	24.5 時間	160 人	ハンバーガー教室、マネー教室 他

○女性学級

学級名	学習時間	参加人数(延べ)	学習内容
小中野	35 時間	139 人	編み物教室、フィットネスウォーキング教室 他
白 銀	40 時間	143 人	まゆ玉クラフト教室、つまみ細工教室 他
鮫	31 時間	125 人	体芯力教室、念珠作り教室 他
上 長	26 時間	103 人	体幹トレーニング教室、切り絵教室 他
柏 崎	22 時間	129 人	八戸小唄講習会、英会話教室 他
大 館	28 時間	273 人	手芸教室、フラワーアレンジメント教室 他
下 長	30 時間	122 人	PPバンド教室、健康ストレッチ教室 他
吹 上	22 時間	113 人	ステンシル教室、腸活講座 他
湊	41 時間	143 人	トールペイント教室、スクラッチアート教室 他
是 川	13 時間	61 人	フラダンス教室、シナプソロジー教室 他
館	26 時間	70 人	編み物教室、骨盤体操教室 他
根 城	20 時間	60 人	編み物教室、ブリザーブドフラワー教室 他
三八城	26 時間	155 人	盆踊り教室、天然木アート教室 他
江 陽	32 時間	169 人	体操教室、フラワーアレンジメント教室 他
長 者	32 時間	47 人	ラペリスフラワー教室
田面木	26 時間	71 人	料理教室、骨盤ストレッチ教室 他
市 川	19 時間	90 人	パッチワーク教室、生け花教室 他
南 浜	13 時間	34 人	料理教室、紙ひも細工教室 他
根 岸	51 時間	263 人	そば打ち教室、ストレッチ教室
白銀南	19 時間	82 人	フラダンス教室、羽子板飾り教室 他
東	30 時間	89 人	美容整体教室、モバイル教室 他
白山台	39 時間	171 人	服のリフォーム教室、バレエ入門 他
南 郷	26 時間	63 人	かごバック教室、郷土菓子教室 他
瑞豊館	24 時間	43 人	ハワイアンキルト教室、ヘッドマッサージ教室 他
計	671 時間	2,758 人	

○高齢者教室

教室名	学習時間	参加人数(延べ)	学習内容
小中野	26 時間	205 人	モルック教室、和風ランプづくり 他
白銀	12 時間	105 人	南部弁昔話、年末年始のマナー講座 他
鮫	12 時間	168 人	音楽セラピー講座、ニュースポーツ体験 他
上 長	28 時間	380 人	歯科衛生士講話、縄文遺跡講座 他
柏 崎	18 時間	64 人	水墨画教室、きり絵教室 他
大 館	16 時間	138 人	健康教室、地域との関わり講話 他
下 長	36 時間	295 人	かぎ針編み教室、椅子ストレッチ教室 他
吹 上	24 時間	168 人	組子細工教室、フィットネス養生気功教室 他
湊	11 時間	124 人	歴史教室、スポーツ吹き矢教室 他
是 川	26 時間	42 人	着物リフォーム教室、ステンシル教室
館	22 時間	58 人	時代劇教室、笑いヨガ教室 他
根 城	19 時間	146 人	健康マージャン教室、ニュースポーツ教室 他
三八城	35 時間	155 人	グラウンドゴルフ教室、墓じまい講座 他
江 陽	23 時間	273 人	チェアエクササイズ、クリスマスコンサート 他
長 者	20 時間	38 人	そば打ち教室、正月飾り作り教室 他
田面木	24 時間	167 人	グラウンドゴルフ教室、シナプソロジー講座 他
市 川	22 時間	213 人	だしふりかけ教室、オカリナ鑑賞会 他
南 浜	8 時間	40 人	グラウンドゴルフ、卓球教室
根 岸	28 時間	161 人	ボッチャ体験教室、かるた大会 他
白銀南	12 時間	58 人	体操教室、盆踊り教室 他
東	18 時間	118 人	マジックショー、消費者講座 他
白山台	40 時間	202 人	初心者麻雀講座、布ぞうり作り教室 他
南 郷	13 時間	58 人	音楽セラピー講座、水産科学館見学 他
瑞豊館	16 時間	45 人	スポーツ吹き矢教室、楽々ストレッチ教室
計	509 時間	3,411 人	

○市民学校

教室名	学習時間	参加人数(延べ)	学習内容
小中野	21 時間	84 人	ペン字教室、中華料理教室 他
白 銀	42 時間	133 人	筋膜リリース教室、裂織教室 他
鮫	31 時間	163 人	踊り・正調八戸小唄教室、野草観察教室
上 長	24 時間	92 人	防犯教室、カラーリング教室 他
柏 崎	30 時間	89 人	みそ作り教室、和菓子作り教室 他
大 館	18 時間	105 人	刺しゅう教室、歴史教室
下 長	25 時間	130 人	歴史教室、麺打ち教室 他
吹 上	16 時間	98 人	料理教室、ミニコンサート 他
湊	30 時間	138 人	マリンバ演奏会、ラージボール卓球教室 他
是 川	24 時間	35 人	寄せ植え教室、えんぶりの歴史講話 他
館	21 時間	77 人	刺しゅう小物作り教室、体芯力体操教室 他
根 城	18 時間	58 人	インクアート教室、青竹ビクス教室 他
三八城	20 時間	55 人	シーグラス教室、着付け教室 他
江 陽	32 時間	181 人	園芸教室、ウクレレ教室 他
長 者	18 時間	60 人	菊づくり教室、羽子板飾り教室
田面木	20 時間	100 人	韓国料理教室、ミュージックベルライブ 他
市 川	16 時間	33 人	藍染教室、木工教室 他
南 浜	11 時間	78 人	鑑識体験、和菓子作り教室 他
根 岸	58 時間	423 人	運動教室、歴史講座 他
白銀南	16 時間	56 人	筋力アップ教室、温活ストレッチ教室
東	28 時間	137 人	三味線教室、終活講座 他
白山台	14 時間	218 人	バトントワリングショー、医師の講演 他
瑞豊館	19 時間	42 人	認知症予防体操教室、一閑張り教室 他
計	552 時間	2,585 人	

○家庭教育学級

学級名	学習時間	参加人数(延べ)	学習内容
小中野	16 時間	162 人	子ども習字教室、子どもパソコン教室 他
白 銀	22 時間	142 人	夏休み勉強会、水汲み体験教室 他
鮫	30 時間	117 人	フラダンス教室、ヒップホップダンス教室 他
上 長	16 時間	92 人	バスボム作り講座、子どもバルーン教室 他
柏 崎	16 時間	84 人	音読となぞなぞ遊び、ビー玉迷路工作教室 他
大 館	47 時間	1,380 人	俳句教室、防災教室 他
下 長	16 時間	107 人	タイピング教室、工作教室 他
吹 上	12 時間	52 人	子どもパソコン教室、手づくりクラブ 他
湊	41 時間	189 人	寄せ植え教室、エコクラフト教室 他
是 川	6 時間	17 人	キーホルダー作り教室、木工クラフト教室 他
館	12 時間	71 人	ドローン教室、スポーツチャンバラ教室 他
根 城	40 時間	295 人	ベビースキンシップ体操教室、郷土かるた 他
三八城	14 時間	93 人	子ども工作教室、親子ネットリテラシー講座 他
江 陽	18 時間	79 人	木工時計作り教室、和太鼓教室 他
長 者	6 時間	17 人	工作教室
田面木	20 時間	155 人	こどもシナプソロジー教室、おこと教室 他
市 川	12 時間	115 人	未就園児親子ふれあい教室、木工教室 他
南 浜	12 時間	97 人	書道教室、ミニミニ水族館 他
根 岸	33 時間	223 人	ボッチャ体験教室、パン作り教室 他
白銀南	11 時間	124 人	ホタル教室、和菓子作り教室 他
東	12 時間	150 人	海のリース作り教室、HIP HOP教室 他
白山台	28 時間	162 人	茶道体験教室、アート入門 他
南 郷	15 時間	113 人	陶芸教室、南部昔っことなぞなぞ 他
瑞豊館	2 時間	4 人	子どもパソコン教室
計	457 時間	4,040 人	

○移動公民館

教室名	開催場所	学習時間	参加人数(延べ)	学習内容
上 長	笹ノ沢生活館 他	8 時間	49 人	体操教室
大 館	松館集会所 他	12 時間	30 人	防災クッキング 他
南 浜	白浜生活センター 他	21 時間	127 人	そば打ち教室、レクダンス教室 他
南 郷	市野沢共有財産集会所 他	16 時間	66 人	寄せ植え教室、映画鑑賞会 他
瑞豊館	普賢院	2 時間	5 人	お寺見学
計		59 時間	277 人	

○市民 I T 講習会

学級名	学習時間	参加人数(延べ)
小中野	15 時間	29 人
白 銀	8 時間	22 人
鮫	12 時間	26 人
上 長	12 時間	28 人
柏 崎	12 時間	27 人
大 館	4 時間	10 人
下 長	14 時間	48 人
吹 上	12 時間	46 人
湊	14 時間	24 人
是 川	13 時間	52 人
館	8 時間	22 人
根 城	17 時間	36 人
三八城	12 時間	49 人
江 陽	13 時間	50 人
長 者	6 時間	15 人
田面木	12 時間	25 人
市 川	10 時間	47 人
南 浜	4 時間	12 人
根 岸	12 時間	37 人
白銀南	12 時間	27 人
東	12 時間	19 人
白山台	12 時間	27 人
南 郷	8 時間	21 人
瑞豊館	14 時間	22 人
計	268 時間	721 人

## 文化財グループ 主要事業

事業名	内容	令和5年度実績
文化財審議委員の会議	市内の文化財の保護・活用に関する審議	委員数：7人 開催月日：5月23日（火） 2月20日（火）
名勝・埋蔵文化財包蔵地の 周知事業	遺跡所在地、名勝種差海岸規制範囲のほか、 開発手続きについて広報・HP等で周知	市広報9月号に掲載
先人周知事業	ふるさとの先人に関する資料収集及び情報発信 ・八戸市HP「八戸市ゆかりの先人たち」掲載  ・ふるさと先人パネル制作  ・先人パネルの貸出  ・ふるさと先人資料収集検討ワーキング会議	ふるさと先人パネル制作： 武輪武一、豊島弘尚の2名を作成 先人パネル貸出：2件3枚 ワーキング会議：1月23日（火）、 2月16日（金）
特別天然記念物 カモシカ保護事業	市街地等における目撃通報への対応及び死亡調 査報告	対応件数：20件
天然記念物蕪島ウミネコ 繁殖地保護事業	・保護監視及び草刈り・清掃委託 ・保存と活用についての意見交換会実施 ・環境調査業務委託 ・蕪島ウミネコ繁殖地有害鳥獣駆除  ・天然記念物蕪島ウミネコ繁殖地緊急調査検討 会議	委託期間：4月1日（土）～3月15日（金） 2月19日（月）開催 委託期間：4月1日～2月16日 駆除期間：4月1日～7月15日、 （うち実働日40日間） 委員数：10人 開催月日：4月18日（火）、11月8日（水）、 2月8日（木）
名勝種差海岸保護事業	・保護指導員によるパトロール ・クロマツ伐採 ・外来植物駆除	パトロール回数：108回 クロマツの伐採：11本 駆除本数：65,882本
史跡等標示事業	歴史的由緒ある地名、場所等への説明板、標柱 の設置・修繕等	「浜須賀・汐越旧景」・「榊形」・「惣門跡」の 修繕
民俗芸能の夕べ開催事業	民俗芸能の保存・伝承を図るため、発表会を開催	第46回民俗芸能の夕べ 開催日：12月2日（土） 場 所：八戸市公会堂文化ホール 出演団体：中居林大神楽 八太郎おしまこ保存会 矢澤神楽 塩町えんぶり組 出演者数：81名 入場者数：310名
無形民俗文化財後継者養成 事業	民俗芸能団体の保存継承に資する活動経費への 一部補助	八戸騎馬打毬会ほか、8団体
八戸三社大祭ユネスコ無形 文化遺産登録PR事業	ユネスコ無形文化遺産である八戸三社大祭に係 る各種周知活動を通じて、文化財の恒久的な保 護を図る。  ・小学生向け副読本の配付  ・全国山・鉾・屋台保存連合会総会出席 ・東北山・鉾・屋台協議会総会出席	市内全小学4年生（一部3年生）に配布 （印刷部数1,900部） 9月3日（日） 9月30日（土）
文化財の保存・活用事業	・八戸地方えんぶり調査事業（～R8年度） ・山車人形衣装修復経費の一部補助 （～R6年度） ・八戸南部家墓所保存修理事業経費の一部補助 ・対泉院山門危険木伐採経費の一部補助	組個別調査、補足調査等 八戸三社大祭山車祭り行事保存会  宗教法人南宗寺 宗教法人対泉院

<p>八戸圏域文化財魅力発信事業</p>	<p>八戸圏域連携中枢都市圏 8 市町村による文化財の面的活用を通じ、文化財の魅了向上及び保護保全への理解深化を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化財バトルカードを使ったワークショップ 日 時：7月19日（水） 場 所：明治小学校 参加者：明治小学校 6 年生（23名）</li> <li>・文化財バトルカードの配布 （8 市町村42種類、圏域内22ヶ所）</li> <li>・事業紹介ホームページの照会</li> <li>・事業周知のためのブース出店 <ul style="list-style-type: none"> <li>①地元の縄文再発見inさんばち 日時：9月16日（土）～18日（月祝） 場所：三戸町体育館</li> <li>②第35回南郷産業文化まつり 日時：11月4日（土） 場所：八戸市南郷体育館</li> <li>③第46回民俗芸能の夕べ 日時：12月2日（土） 場所：八戸市公会堂文化ホール</li> </ul> </li> </ul>
----------------------	---	---

## 国宝

種別	名称	員数	指定年月日	所在地	所有者・管理者
工芸	赤糸威鎧 兜、大袖付 附唐櫃	1領	昭 28.11.14	大字八幡字八幡丁	櫛引八幡宮
	白糸威棲取鎧 兜、大袖付 附唐櫃	1領	昭 28.11.14	〃	〃
考古	土偶(青森県八戸市風張1遺跡出土)	1箇	平 21.7.10	大字是川(是川縄文館)	八戸市

## 重要文化財

建造物	清水寺観音堂 附棟札3枚	1棟	昭 55.1.26	大字是川字中居	清水寺
	櫛引八幡宮本殿、旧拝殿、末社神明宮本殿、末社春日社本殿、南門 附罫口	5棟	平 5.4.20	大字八幡字八幡丁	櫛引八幡宮
工芸	紫糸威肩白浅黄鎧 兜、大袖付	1領	昭 25.8.29	〃	〃
	唐櫃入白糸威肩赤胴丸 兜、大袖付	1領	昭 25.8.29	〃	〃
	兜 浅黄威肩赤大袖二枚付	1頭	昭 25.8.29	〃	〃
考古	青森県是川遺跡出土品	963点	昭 37.2.2 平 23.6.27	大字是川(是川縄文館)	八戸市
	青森県風張1遺跡出土品	663箇	平 9.6.30	〃	〃
	青森県丹後平古墳群出土品	195点	平 30.10.31	大字根城(八戸市博物館)	〃
	青森県櫛引遺跡出土品	83点	令 5.6.27	〃	〃

## 民俗文化財

重要有形民俗文化財	八戸及び周辺地域の漁撈用具と浜小屋	1,383点 1棟	平 5.4.15	大字鮫町字大作平 大字根城(八戸市博物館)	八戸市
重要無形民俗文化財	八戸のえんぶり		昭 54.2.3	八戸市・三戸郡	八戸地方えんぶり連合協議会
	八戸三社大祭の山車行事		平 16.2.6	八戸市	八戸三社大祭山車祭行事保存会

## 史跡・名勝・天然記念物

史跡	根城跡 (18.5万㎡)		昭 16.12.13 平 23.2.7	大字根城、根城八丁目	八戸市
	是川石器時代遺跡 (21.9万㎡)		昭 32.7.1 平 16.9.30 平 25.10.17 平 28.10.3	大字是川	〃
	長七谷地貝塚 (3万㎡)		昭 56.5.25	桔梗野工業団地三丁目	〃
	丹後平古墳群 (7,000㎡)		平 11.1.14	南白山台一丁目	〃
名勝	種差海岸 (880万㎡)		昭 12.12.21	大字鮫町	〃
天然記念物	燕島ウミネコ繁殖地 (1.8万㎡)		大 11.3.8	大字鮫町字鮫	〃

## 重要美術品

書跡	徳川家康自筆日課念仏	1巻	昭 8.10.31	十六日町	天聖寺
	徳川家康自筆日課念仏	1巻	昭 8.12.14	西白山台五丁目	個人
	徳川家康自筆日課念仏	1巻	昭 8.12.14	十八日町	個人

## 登録文化財

種別	名称	員数	指定年月日	所在地	所有者・管理者
有形文化財	旧河内屋橋本合名会社	1棟	平 10.12.25	八日町	株式会社大正ロマン
	更上閣主屋	1棟	平 15.10.17	本徒士町	八戸市
	更上閣門	1棟	平 15.10.17	〃	〃
	新むつ旅館本館	1棟	平 19.5.29	小中野六丁目	個人
	旧島守発電所本館	1棟	平 21.11.19	南郷大字島守字持金沢	八戸市
	旧島守発電所水槽	1基	平 21.11.19	〃	〃
	旧島守発電所水圧鉄管路	1所	平 21.11.19	〃	〃
	旧島守発電所余水路	1所	平 21.11.19	〃	〃
	八戸酒造店舗兼主屋	1棟	平 22.9.10	大字湊町字本町	個人
	八戸酒造北蔵	1棟	平 22.9.10	〃	〃
	八戸酒造文庫蔵	1棟	平 22.9.10	〃	〃
	八戸酒造西蔵	1棟	平 22.9.10	〃	〃
	八戸酒造煉瓦蔵	1棟	平 22.9.10	〃	〃
	八戸酒造煉瓦塀	1棟	平 22.9.10	〃	〃

## 県重宝

令和6年10月1日現在

種別	名称	員数	指定年月日	所在地	所有者・管理者
建造物	八戸城角御殿表門 附棟札3枚 毘沙門天像1軀	1棟	昭 56.4.18	内丸三丁目 大字根城(八戸市博物館)	八戸市
	南宗寺山門	1棟	平 3.3.13	長者一丁目	南宗寺
	新羅神社本殿、拝殿	2棟	平 3.3.13	長者一丁目	新羅神社
	旧八戸小学講堂	1棟	平 3.3.13	大字八幡字八幡丁	榎引八幡宮
	大慈寺(松館)山門 附棟札1枚	1棟	平 21.2.18	大字松館字古里	大慈寺(松館)
	対泉院山門	1棟	平 29.8.16	大字新井田字寺ノ上	対泉院
	大慈寺(糠塚)本堂、山門、経蔵	3棟	平 30.8.20	長者一丁目	大慈寺(糠塚)
	小田八幡宮八脚門	1棟	令 6.4.8	小田一丁目	小田八幡宮
工芸	鎧櫃	1個	昭 31.5.14	大字中居林字彦五郎	個人
	日本刀 銘 奥観寿藤原吉廣	1口	昭 43.4.5	大字根城(八戸市博物館)	八戸市
	鰐口 応永十二年銘	1口	昭 46.9.6	大字八幡字八幡丁	榎引八幡宮
	日本刀 銘 備州長船幸光	1口	昭 46.9.6	〃	〃
	菊牡丹唐草嚮十字紋蒔絵漆器	13点	平 18.2.1	大字根城(八戸市博物館)	八戸市
	唐草南部鶴紋蒔絵漆器	12点	平 18.4.19	〃	〃
	南部鶴紋蒔絵漆器	7点	平 18.4.19	〃	〃
彫刻	舞楽面	9面	昭 46.9.6	大字八幡字八幡丁	榎引八幡宮
書跡	新編文林全集	1部 10冊	昭 31.5.14	大字番町	個人
歴史資料	湊家文書	11通	昭 47.4.6	大字根城(八戸市博物館)	八戸市
	天保三辰ヨリ七カ年凶作日記 (内題「市川日記」)	1巻	平 8.5.22	旭ヶ丘四丁目	個人
	遠山家日記	111点	平 28.8.15	大字糠塚(八戸市立図書館)	八戸市
	刊本自然真嘗道	3巻	令 5.4.12	〃	〃
	棟札「明德五年」銘	1枚	昭 30.1.7	大字松館字古里	個人
考古資料	縄文式甕形土器	1個	昭 31.5.14	大字根城(八戸市博物館)	八戸市
	縄文式土器	1個	昭 34.10.6	〃	清水寺
	縄文式板状土偶	1個	昭 47.4.6	〃	〃
	鹿島沢古墳群出土品(一括)	63点	平 14.4.17 令 6.4.8	〃	八戸市

## 民俗文化財

県無形民俗文化財	南部駒踊		昭 34.10.6	大字河原木	高館駒踊保存会
	加賀美流騎馬打毬		昭 47.3.15	八戸市	八戸騎馬打毬会
	鮫の神楽		昭 55.10.21	大字鮫町	鮫神楽保存会
	法霊神楽		昭 61.2.4	内丸二丁目	轟神社法霊神楽保存会

## 記念物

県史跡	八戸南部家墓所		昭 30.1.7	長者一丁目	南部家・南宗寺
	一里塚	1基	昭 36.6.10	大字十日市(八戸公園)	八戸市
	餓死萬霊等供養塔及び戒壇石	2基	昭 63.1.16	大字新井田字寺ノ上	対泉院
	一里塚	1基	昭 37.6.29	南郷頃巻沢字長久保	八戸市
	一里塚	2基	昭 37.6.29	南郷市野沢字新田 南郷中野字大久保	〃
	一里塚	2基	昭 37.6.29	南郷大森字砂子崎 南郷大森字林崎後	〃
県天然記念物	カヤの木	1本	昭 42.1.11	南郷大字島守字門前	高松寺

## 有形文化財

種 別	名 称	員 数	指定年月日	所 在 地	所有者・管理者
建造物	旧八戸城東門	1棟	平 5 . 6 . 3	大字根城(根城の広場)	八 戸 市
絵 画	八戸二十景屏風	4曲1隻	昭 34 . 9 . 15	大字番町	個 人
	名花十二客図屏風	6曲1双	平 10 . 6 . 23	大字根城(八戸市博物館)	八 戸 市
彫 刻	阿弥陀如来像	1軀	昭 48 . 4 . 13	大字新井田字坂	浄 生 寺
	地藏菩薩像	6軀	昭 48 . 4 . 13	大字妙字東	伝 昌 寺
	地藏菩薩像	1軀	昭 48 . 4 . 13	大字松館字古里	大 慈 寺
	毘沙門天像	1軀	昭 48 . 4 . 13	大字河原木字小田	小 田 八 幡 宮
	五智如来像	1軀	昭 48 . 4 . 13	大字上野字古屋敷	上 野 町 内 会
	地藏菩薩像	1軀	昭 48 . 4 . 13	大字湊町字上ノ山	十 王 院
	魚籃観音菩薩像	1軀	昭 48 . 4 . 13	小中野六丁目	常 現 寺
	地藏菩薩像	1軀	昭 48 . 4 . 13	大字朔日町	来 迎 寺
	大黒天像	1軀	平 20 . 9 . 1	大字尻内町字三条目	個 人
工 芸	海有鞍・両咲燈及び障泥	和鞍1式	昭 34 . 9 . 15	大字番町	個 人
	千両箱	1個	昭 34 . 9 . 15	〃	〃
	御拝領御鏡	1個	昭 34 . 9 . 15	〃	〃
	杉戸・桐戸	15枚・2枚	昭 38 . 9 . 26	長者一丁目	南 宗 寺
	二十五条袈裟	1肩	昭 38 . 9 . 26	〃	〃
	青銅擬宝珠	8個	昭 54 . 9 . 6	大字八幡字八幡丁	櫛 引 八 幡 宮
	本小札勝色威二枚胴具足・附具足櫃	1領	昭 56 . 4 . 28	内丸一丁目	三 八 城 神 社
	旧八戸藩主軍装用具	1式	昭 56 . 4 . 28	〃	〃
	梨子地螺鈿金装太刀	1口	昭 56 . 4 . 28	〃	〃
	日本刀 銘 精壯斎宗有	1口	昭 61 . 2 . 21	大字根城(八戸市博物館)	八 戸 市
書 典 古 文 書	八戸藩領内境塚大絵図	1部	昭 34 . 9 . 15	大字番町	個 人
	八戸城内図(古御殿御絵図面)	1部	昭 34 . 9 . 15	〃	〃
	八戸城内図(新規御普請御殿御絵図面)	1部	昭 34 . 9 . 15	〃	〃
	八戸藩政時代市街図(八戸藩城下町図)	1部	昭 34 . 9 . 15	〃	〃
	陸奥国三戸郡八戸町全図	1部	昭 34 . 9 . 15	〃	〃
	八戸藩初代直房公領地御拝領之節御礼御奉書	1部	昭 34 . 9 . 15	〃	〃
	八戸藩二代直政公御家督之節御礼御奉書	1部	昭 34 . 9 . 15	〃	〃
	八戸藩二代直政公御遺訓(直政書)	1部	昭 34 . 9 . 15	〃	〃
	奥南温古集	10冊	昭 34 . 9 . 15	〃	〃
	写経紺紙金泥法華経一部	8巻	昭 48 . 1 . 24	大字是川字白幡	福 善 寺
	福士文書	11通	昭 48 . 1 . 24	大字根城(八戸市博物館)	八 戸 市
	八戸藩日記	560冊	平 10 . 1 . 14	大字糠塚(八戸市立図書館)	八 戸 市

## 有形文化財

令和6年10月1日現在

種別	名称	員数	指定年月日	所在地	所有者・管理者
書跡 典籍 古文書	真法弟算記	2巻	平 14. 1. 24	大字糠塚(八戸市立図書館)	八戸市
	諸国神社仏閣掛所算術	1冊	平 14. 1. 24	大字根城(八戸市博物館)	〃
歴史資料	欄間	2間	昭 48. 1. 24	大字根城(八戸市博物館)	個人
	和算用算木	2組	昭 48. 1. 24	長者一丁目 大字根城(八戸市博物館)	南宗寺 八戸市
	算額	1枚	昭 48. 1. 24	長者一丁目	南宗寺
	万年曆	1枚	昭 48. 1. 24	内丸二丁目	霨神社
	乙因追善俳諧献額	1双	昭 54. 1. 19	大字鮫町字鮫	浮木寺
	千風庵百々評俳諧献額	1双	昭 54. 1. 19	大字河原木字小田	小田八幡宮
	千石船万徳丸図	1幅	昭 56. 4. 28	大字根城(八戸市博物館)	個人
	鬼瓦	3個1式	平 5. 6. 3	大字鷹匠小路	〃
五梅庵畔李公「国光の発句」献額	1枚	平 17. 11. 1	長者一丁目	長者山新羅神社	

## 無形文化財

無形文化財	八戸藩伝神道無念流居合		平 3. 10. 14	大字糠塚	神道無念流 居合保存会
-------	-------------	--	-------------	------	----------------

## 民俗文化財

無形民俗 文化財	泉清水えんぶり		昭 53. 4. 1	南郷大字泉清水	保存会
	中野神楽		昭 53. 4. 1	南郷大字中野	保存会
	大平大神楽		昭 53. 4. 1	〃	保存会
	島守小学校神楽		昭 53. 4. 1	南郷大字島守	島守小学校長
	島守駒踊		平 11. 7. 1	〃	保存会
	島守虎舞		平 15. 12. 5	〃	保存会
	白銀四頭権現神楽		平 28. 6. 1	大字白銀町	保存会
	八太郎おしまこ		平 30. 8. 1	八太郎地区	保存会
有形民俗 文化財	清水寺奉納絵馬	51枚	昭 48. 1. 24	大字是川字中居	清水寺
	太公望と屋台一式	1体1台1枚	平 15. 7. 29	内丸二丁目	霨神社
	武田信玄と屋台一式	1体1台1枚	平 15. 7. 29	〃	〃
	享保六年記年銘録先	1振	平 15. 7. 29	〃	〃
	神功皇后と武之内宿禰	2体1枚	平 15. 7. 29	大字根城(八戸市博物館)	八戸市
	為朝と嶋人	3体、1体	平 15. 7. 29	〃	〃

## 記念物

史跡	敷石供養塔	1基	昭 48. 1. 24	長者一丁目	禅源寺
天然記念物	杉の木	3本	昭 48. 1. 24	大字豊崎町字上永福寺	七崎神社
	イチイの木	1本	平 4. 1. 31	南郷大字市野沢字黄檗	忠魂碑管理者
	クリの木	1本	平 4. 1. 31	南郷大字市野沢字林合	稻荷神社
	モミの木	3本	平 4. 1. 31	南郷大字島守字内山	個人
	イチイの木	1本	平 4. 1. 31	南郷大字島守字大波	〃
	アカマツの木	1本	平 6. 1. 31	南郷大字大森字黒坂	個人

## ◇教育総務課

### 主要事業

事業名	内容	令和5年度実績
学校施設開放事業	学校教育に支障のない範囲で地域住民のスポーツ・レクリエーション及び学習文化活動のために学校施設を開放し、地域住民が気軽に学べる環境づくりと地域に開かれた学校づくりを進める。	実施校 54校 ・小学校 37校 ・中学校 17校

## ◇学校教育課

### 主要事業

事業名	内容	令和5年度実績
よい歯のコンクール	八戸歯科医師会との共催（年1回）	新型コロナウイルス感染症の影響により中止
手づくり弁当の日	食育の一環として、小・中学校で弁当持参を実施（年2回）	6月5日・10月2日
学校給食・食育活動見学会	食育の一環として、小・中学校教職員及び学校給食関係者が参観する学校給食・食育活動見学会の開催（年1回）	11月7日：是川小学校
中学校体育大会派遣補助金	東北大会以上の中学校体育大会に出場する生徒の派遣費を補助	中学校体育大会選手派遣事業補助金 ・夏季東北大会 42名(9団体) ・夏季全国大会 16名(6団体) ・冬季東北大会 24名(10団体) ・冬季全国大会 78名(15団体)
児童生徒文化活動促進費補助金	文化活動団体の運営費等、及び県大会以上の文化活動に参加する児童生徒の派遣費を補助	運営費等補助金 ・八戸地区吹奏楽連盟 ・八戸市中学校文化連盟  派遣費補助金 交付先：26団体 補助対象人数：578名

## ◇教育指導課

### 主要事業

事業名	内容	令和5年度実績
コミュニティ・スクール推進事業	・学校運営協議会(地域学校連携協議会)の設置 ・学校運営協議会委員の委嘱 ・コーディネーターの配置 ・地域学校協働活動の推進	全小・中学校で実施 コーディネーター 130人(兼務含む) 学校支援ボランティア 41,339人(累計)
青少年海外派遣交流事業	・アメリカへの中学生派遣	令和5年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため交流事業中止
南部藩ゆかりの都市との交流事業	・八戸市少年使節団派遣 派遣期間：7月29日～30日（1泊2日） 派遣先：遠野市 ・遠野市少年使節団受入れ 派遣期間：8月3日～4日	派遣人数：小学生40人、引率7人  受入人数：小学生24人、引率6人
指導者研修事業	・少年団体育成指導者の派遣 ・指導者養成講座の開催	年10回 年1回
青少年関係団体補助金	・八戸市青少年健全育成「愛の一声」市民会議補助金 ・八戸市青少年生活指導協議会連合会補助金	補助金額 295千円  補助金額 239千円

## ◇八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館

### 基本方針

是川遺跡や風張1遺跡などを通して、東北地方の優れた縄文文化を発信する。  
市内の埋蔵文化財の調査・研究及び出土文化財の整理・収蔵を行うとともに、発掘調査記録などの積極的な公開活用と適切な保存管理を図る。

### 主要事業

事業名	内容	令和5年度実績
市内遺跡発掘調査	細越遺跡 松ヶ崎遺跡	120.0 m <sup>2</sup> 1,098.0 m <sup>2</sup>
発掘調査受託事業	八戸城跡 笹ノ沢(4)遺跡	160.0 m <sup>2</sup> 2,558.4 m <sup>2</sup>
埋蔵文化財の保存・活用事業	企画展「縄文・かたちの美 -是川遺跡の皿形土器-」 是川遺跡出土品保存修理事業 収蔵資料データベース化	土器6点、漆製品2点、木製品5点、石製品12点、計25点実施
是川縄文の里整備事業	縄文遺跡群パネル展開催 是川縄文館草刈等業務 史跡整備 是川縄文館「研究紀要」刊行 是川縄文館「年報」刊行	本館 通年開催 是川遺跡・分館等年3回実施 整備検討委員会の設置、会議2回開催
是川縄文館特別展等開催事業	是川縄文館特別展「北陸の晩期縄文文化」 秋季企画展「掘りdayはちのへ」 冬季企画展「縄文・かたちの美 -是川遺跡の土製品-」	夏季特別展図録刊行 埋蔵文化財ニュース刊行

### 施設概要

是川縄文館は、平成23年に新設した建物を本館、既設の八戸市縄文学習館を分館とし、一体の施設として位置付ける。本館では、是川遺跡、風張1遺跡などの発掘成果をふまえた展示や体験交流事業と、市内の埋蔵文化財調査、整理保存、収蔵展示などの業務を実施する。

- ・所在地 八戸市大字是川字横山1 TEL 38-9511 / FAX 96-5392
- ・構造 1階鉄筋コンクリート造+2階鉄骨造
- ・敷地面積 13,752.55m<sup>2</sup>
- ・建築面積 2,602.98m<sup>2</sup>
- ・延床面積 4,593.82m<sup>2</sup>
- ・利用方法 開館時間 午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで）  
休館日 月曜日（祝日・振替休日を除く）  
祝日の翌日・振替休日の翌日（土・日・祝日を除く）  
12月27日～1月4日

・観覧料等

		一般	高校生 大学生	中学生以下
是川縄文館 (本館)	個人	250 円	150 円	無料
	団体 (20 人以上)	130 円	80 円	

※特別展期間中は料金が変わる場合がある。  
障がい者・市内の 65 歳以上の方などは半額。

・利用状況 (令和 5 年度 年間入館者 合計 33,596 人)

開館 日数	入館者 (人)	個人			団体			免除(市内 小・中学生)	講座・ボラ ンティア等	減免
		一般	高校生 大学生	計	一般	高校生 大学生	計			
312	33,596	16,185	599	16,784	2,439	241	2,680	7,393 (1,858)	5,163	1,576

・教育普及

特別展考古学講座	8 月 26 日 (1 回)	
企画展考古学講座	10 月 9 日 (1 回)	
遺跡調査報告会	11 月 11 日 (1 回)	
考古学講座	5 月 13 日～2 月 10 日 (6 回)	
体験講座	縄文時代の布を編む講座	9 月 2 日 (1 回)
	縄文土器作り講座	10 月 14 日、10 月 21 日、3 月 23 日 (3 回)
土曜日体験教室	4 月 29 日～3 月 2 日 (5 回)	
ボランティアによる体験学習指導	縄文体験コーナー開設 (55 回)	
日曜日縄文体験コーナー	4 月 9 日～3 月 31 日の各日曜日 ※11/26, 3/3 は他のイベントのため中止	
夏休み縄文体験コーナー	7 月 23 日～8 月 13 日の各土・日曜日	
是川縄文まつり体験コーナー	8 月 20 日	
是川縄文の日	11 月 3 日	
これかわ考古学クラブ	5 月 27 日～2 月 3 日 (6 回)	
是川遺跡クリーンデー	10 月 27 日 ※8/19 は熱中症警戒のため中止	
臨時体験イベント	10 月 9 日、3 月 3 日 (2 回)	

・サポートスタッフ研修会

サポートスタッフ研修会 (5～6 月)	5 月 20 日～7 月 1 日 (6 回)
サポートスタッフ研修会 (1～2 月)	1 月 13 日～2 月 24 日 (6 回)

是川縄文館 分館 (縄文学習館)

※史跡整備事業により、令和 2 年 7 月から休館。整備工事に伴い廃止予定。

## ◇総合教育センター

### 主要事業

事業名	内容	令和5年度実績
市民英会話教室	市民に国際化に対応した学習機会を提供し、生涯学習の一環としての英語能力・コミュニケーションの育成を図るために、市民英会話教室を開催する。 ・年2回（1日ずつ）開催	・受講者数 69人
市民パソコン教室	市民に生涯学習の一環として、情報化社会に対応する学習の機会を提供するために、市民パソコン教室を開催する。 ・年2回開催（各2日間の日程）	・受講者数 53人
市民プログラミング教室	市民に生涯学習の一環として、情報化社会に対応する学習の機会を提供するために、市民プログラミング教室を開催する。 ・年1回開催	・受講者数 19人
教育メディア利用促進事業	教育メディアの利用及び普及を図る。 ・三八地方1市5町1村で構成する協議会（事務局は八戸市に置く）で運営する。 ・視聴覚ライブラリーの教材・教具は、視聴覚センターのものと共同管理する。 ・購入した教材・教具は、児童科学館で貸出する。	・各町村からの視聴覚教材購入負担金は、八戸市が幹事自治体となり、教育メディア利用促進事業の中に組み込まれ、教材の整備充実にあてる。 ・購入金額 0円 ・購入本数 0本
青少年のための科学の祭典 八戸大会	児童生徒に科学のおもしろさと不思議さを体験してもらい、科学する心の育成を図ることを目的として、2日間開催する。	・来場者数 1,143人
視聴覚センター・児童科学館運営	指定管理者による管理運営 指定期間 第1期：平成21年度～23年度 第2期：平成24年度～28年度 第3期：平成29年度～令和3年度 第4期：令和4年度～8年度 〈事業内容〉 ・視聴覚教材教具貸出し ・プラネタリウム上映 ・科学、天文、ものづくり等の各種催し ・展示コーナーの運営	・入館者数 54,913人 ・プラネタリウム 観覧者数 11,548人（令和5年度末現在）

## 〔視聴覚センター・児童科学館〕

視聴覚センター・児童科学館は、視聴覚教材の制作・貸出し・研修を行うとともに、楽しみながら科学に興味をもって学習できる施設として、学校教育・社会教育に側面から援助することを目的としている。

◎指定管理者：三八五ふれあいネット

(指定期間：平成21年度～平成23年度、平成24年度～平成28年度、平成29年度～令和3年度、令和4年度～令和8年度)

昭和55年10月に開館

- ・所在地 八戸市類家四丁目3-1 TEL 45-8131 / FAX 45-8132
- ・総建物面積 約 1,809㎡
- ・利用方法 開館時間 午前8時30分～午後5時  
休館日 月曜日(祝日の場合は翌日)、12月29日～1月3日

施設利用	使用許可申請書提出
機材利用	使用許可申請書提出 スタジオ等の使用は、視聴覚教育講座修了者に限る
研修会・講座	申込書(先着順しめきり)
クラブ・教室	申込書(先着順しめきり)
視聴覚ライブラリー	電話等で予約、使用時申請書の提出、16mm映写機等の使用は修了証所持者
プラネタリウム	一般投影(団体は電話申込、観覧料別表) 学習投影・幼児投影(電話申込、保育園・幼稚園、小・中学校学童保育等は減免申請) 一般団体(電話申込、観覧料別表)

### ・プラネタリウム観覧料

	一般・大学生	シニア	高校生	中学生	小学生以下	※土・日・祝日は、 八戸市内の中学生は無料
個人	250円	130円	150円	50円	無料	※シニアは、八戸市内在住の 65歳以上が対象
※団体	130円	130円	80円	30円	無料	※団体は20人以上

### ・利用状況(令和5年度)

開館 日数	入館者数 (人)	プラネタリウム 観覧者数	プラネタリウム団体利用状況(件数)							
			利用団体計	幼稚園 保育園	小学校	中学校	高校等	学校諸団体	子ども会	その他
289日	54,913人	11,548人	98	48	25	0	0	0	0	25
施設利用状況(件数)										
スタジオコントロール室	視聴覚室	実習室	講義室	天体観測室/屋上	図書室					
0	178	51	134	28	10					

## 主要事業

### (1) 催し・教室・クラブ

No.	名称	令和5年度実績
1	青少年のための科学の祭典	8月5日(土)6日(日) /1,143人
2	市民星空観望会	毎月第2・4土曜日 18:00～19:45(11月～2月 17:00～18:45) /344人
3	楽しまナイト劇場	毎月第2・4土曜日 16:00～ /101人
4	おたのしみ劇場	毎週日曜日 10:00～11:00 /673人
5	移動天文教室	夜間適時(会場は申込校) /221人
6	わくわくサイエンス	年間6回 13:30～15:00 /495人
7	夏休み親子科学教室	7月30日(日) 13:30～17:00 /81人

8	冬休み図工教室	12月24日（日）13:30～15:00 /58人
9	親子パソコン教室	1月9日（火）～11日（木） /44人
10	少年少女発明クラブ	4月～3月（第1・3日曜日） /1,031人
11	天文クラブ	5月～3月（第2土曜日） /218人

（2）研修会・講座

No.	研修・講座名	令和5年度実績
1	視聴覚担当者連絡会	資料郵送
2	教育メディア研修講座(1)	開催せず
3	教育メディア研修講座(2)	5月27日（土）13:00～16:30、28日（日）9:00～16:00 /6人
4	映像利用学習会	年間9回 13:00～15:00 /100人
5	小・中学校アナウンス講習会	10月26日（木）14:00～16:00 /37人

〔視聴覚ライブラリー〕

事業概要

1 基本方針

- （1）視聴覚施設設備の充実を図り、その利用を促進し、市民のすぐれた知性と豊かな人間性の高揚をめざす。
- （2）児童生徒に視聴覚的な方法で学習させることにより、興味・意欲を喚起し、学習効果の向上に努める。
- （3）視聴覚的な教育方法の研究開発をすすめ、情報の提供活動を推進する。

- ・利用方法 三八管内の7市町村の共同運営で、DVD等の視聴覚教材を学校教育、社会教育の利用に供するものである。
- ・使用料は無料とする。
- ・営利を目的としない。
- ・16mm映写機の使用は操作技術修了者が行う。16mm映写機は検定に合格したものを利用する。
- ・貸出し期間は、7日以内とする。
- ・利用状況（令和5年度）

	幼稚園・保育園	小学校	中学校	高等学校等	社会教育	計
16mm映画利用本数	0	0	0	0	33	33
ビデオ利用本数	1	0	0	8	8	17
DVD	55	32	49	30	338	504

## ◇図書館

### 1 基本方針

- (1) 本を読む楽しみを支える図書館  
誰もが平等に本を読む楽しみに出会えるよう「本のまち八戸」を支える。
- (2) 誰もが利用できる図書館  
老朽化への対応を進め、年齢や障がいの有無等にかかわらず、誰もが利用できる環境の整備を図る。
- (3) 生涯にわたる学びを支え、暮らしや地域の課題解決を支える図書館  
情報拠点として、利用者の知りたい、学びたい、調べたいを支援し、市民生活を支える多様な情報の提供に努める。
- (4) 郷土の歴史や文化を次世代へ継承する図書館  
図書館の長い歴史の中で引き継がれてきた資料を生かし、後世に伝えるとともに、郷土を愛する心を育む。

### 2 主要事業

事業名	内容	令和5年度実績
図書館資料の充実	図書館資料を幅広く収集するとともに、良好な保存管理を行う。	購入（図書 12,641冊 視聴覚資料 248点）
資料の企画展示	図書館の資料に関心をもってもらうため、季節や時事に合わせた資料の企画展示を行う。	展示回数 74回
絵本等の読み聞かせ	ボランティア団体の協力により、読み聞かせを定期的に開催する。	開催回数 177回 参加者延べ 1,173人  ※R5.5下旬より 毎月第4土曜日午前開催の「ちいさなこどものためのわらべ歌と絵本の会」を再開。  ※R6.3は冷房設備等更新工事に伴い図書館休館のため中止。
読書週間行事	こどもの読書週間・秋の読書週間に、企画展示、おはなし会、講演会、朗読会、本と雑誌のリサイクルフェア等を開催する。	・こどもの読書週間 企画展示「図書館の本のヒミツ」 ・秋の読書週間 企画展示「羽仁もと子生誕150周年記念展」 ビデオ上映会「愛と自立のたましいを 羽仁もと子の生涯」 参加者 25人 雑誌付録抽選会 付録 56点 応募 1,400件 ・本と雑誌のリサイクルフェア 来場者 411人 リサイクル冊数 6,139冊 ・春のおはなし会 参加者 11人

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 3館合同イベント「七夕おはなし会」参加者 9人</li> <li>・ 冬のおはなし会 計2回 参加者 32人</li> </ul>
レファレンスサービス	調査・研究を援助し、相談に応じるレファレンス業務の充実に取り組む。	本館 1,533件 南郷 151件 図書情報センター 93件
図書館間の相互貸借	ネットワークシステム等を活用し、他図書館との資料貸借により、利用者の資料ニーズに対応する。	他館へ貸出 438冊 他館から借受 467冊
分館の運営	分館の南郷図書館及び図書情報センターの管理運営を、指定管理者により行う。	指定管理者：(株)図書館流通センター
移動図書館及び分室の運営	移動図書館車による定期巡回や、6分室の運営により、遠隔地域の貸出サービスの充実に努める。	移動利用者数 6,159人 分室利用者数 4,044人
国立国会図書館デジタル化資料送信サービス	国立国会図書館のデジタル化資料205万点を、図書館の専用パソコンで閲覧・複写可能にする。	閲覧数 複写枚数 本館9人 52枚 南郷 1人 0枚 図書情報センター 0人 0枚
ブックスタート	総合健診センターで行われる先天性股関節脱臼検診時に、対象の親子に読み聞かせのボランティアが絵本の読み聞かせを行い、ブックスタートパックを配付。	配付 1,107組
調べる学習コンクール	児童生徒の調べる力向上の一助となるよう、図書館を使った調べる学習コンクールを開催する。	応募総数 24点
学校図書館出前講座	学校図書館の図書の整理や修理、読み聞かせの仕方等について、小・中学校へ出向いて講座を行う。	開催回数 3回
体験！一日図書館員	児童生徒に、図書館をより知ってもらい本に親んでもらうため、図書館の仕事を体験する講座を開催する。	参加者 44人
障がい者等配送貸出サービス	心身の障害等により、図書館に来館が困難な方に、図書や雑誌を配送で貸出する。	登録者数 12人 利用者数 67人 貸出冊数 273冊
古文書の整理・解読	古文書を良好な状態で整理保存するとともに、八戸藩日記の解読本の作成を進める。	解読冊数 17冊
古文書解読講習会	郷土の歴史や古文書への知識を深めるため、古文書解読講習会を開催する。	全5回開催 参加者 9人
市民のための歴史講座	博物館と連携し、共通のテーマを設けて各館2回ずつ計4回の講座を開催する。	全2回開催 参加者 78人
市史双書の刊行	市史双書を刊行する。	「八戸藩勤功帳 第1巻」刊行

### ◎八戸市立図書館（本館）

- ・ 所在地 八戸市大字糠塚字下道2-1 TEL 22-0266 / FAX 71-1312
- ・ 総建物面積 約3,563㎡
- ・ 開館時間 月曜日～金曜日 午前9時～午後7時  
土曜日・日曜日・祝日 午前9時～午後5時

- ・休館日 毎月末日(館内整理日)、国民の祝日の翌日、年末年始(12月28日～1月4日)、年1回15日以内(図書整理期間)  
※冷房設備等更新工事のため、令和6年3月1日～令和6年8月7日臨時休館。
- ・貸出 図書・雑誌(最新号は除く) 1人8冊まで、15日以内  
CD 1人2点まで、15日以内
- ・貸出できる方 八戸市内居住者、八戸市内通勤・通学者、青森県内共通利用券所持者、相互利用協定締結市町村の居住者、八戸圏域連携中枢都市圏内の居住者

・令和5年度統計

蔵書数(冊)

総記	哲学	歴史	社会科学	自然科学	技術
24,976	17,514	45,321	61,461	20,696	27,122
産業	芸術	言語	文学	児童書	計
14,062	27,029	5,903	120,517	90,176	454,777

視聴覚資料所蔵数(点)

CD
5,282

貸出数(冊、点)

本館(図書・雑誌)	本館(CD)	移動図書館	分室(公民館等)	計
552,637	11,680	26,951	12,651	603,919

貸出利用者(人)

本館	移動図書館	分室(公民館等)	計
117,204	6,159	4,044	127,407

◎八戸市立南郷図書館(分館)

- ・所在地 八戸市南郷大字市野沢字中市野沢39-1 TEL 60-8100 / FAX 60-8130
- ・総建物面積 約1,937㎡
- ・開館時間 月曜日～金曜日 午前9時～午後7時  
土曜日・日曜日・祝日 午前9時～午後5時
- ・休館日 毎月末日(館内整理日)、国民の祝日の翌日、年末年始(12月28日～1月4日)、年1回15日以内(図書整理期間)  
※成人開架室天井補修のため令和6年1月15日～1月31日臨時休館。
- ・貸出 図書・雑誌(最新号は除く) 1人8冊まで、15日以内  
DVD・CD 1人2点まで、15日以内
- ・貸出できる方 八戸市内居住者、八戸市内通勤・通学者、青森県内共通利用券所持者、相互利用協定締結市町村の居住者、八戸圏域連携中枢都市圏内の居住者

・令和5年度統計

蔵書数(冊)

総記	哲学	歴史	社会科学	自然科学	技術
1,751	1,537	5,040	5,083	2,695	3,961
産業	芸術	言語	文学	児童書	計
1,765	3,940	791	14,961	22,521	64,045

視聴覚資料所蔵数(点)

DVD・CD
1,935

貸出数(冊、点)

一般書・雑誌	児童書	視聴覚資料	計
37,900	29,004	2,088	68,992

貸出利用者 14,091人

◎八戸市図書情報センター（分館）

- ・所在地 八戸市大字尻内町字館田1-1 八戸駅ビル1階 TEL 70-2600 / FAX 70-2601
- ・総建物面積 約314㎡
- ・開館時間 月曜日～金曜日 午前10時～午後8時  
土曜日・日曜日・祝日 午前10時～午後6時
- ・休館日 毎月末日（館内整理日）、国民の祝日の翌日、年末年始（12月28日～1月4日）、年1回15日以内（図書整理期間）
- ・貸出 図書・雑誌（最新号は除く） 1人8冊まで、15日以内  
DVD・CD・ビデオ 1人4点まで、15日以内
- ・貸出できる方 八戸市内居住者、八戸市内通勤・通学者、青森県内共通利用券所持者、相互利用協定締結市町村の居住者、八戸圏域連携中枢都市圏内の居住者
- ・令和5年度統計

蔵書数(冊)

総記	哲学	歴史	社会科学	自然科学	技術
203	93	520	440	132	232
産業	芸術	言語	文学	児童書	計
121	213	68	1,066	3,377	6,465

視聴覚資料所蔵数(点)

DVD・CD・ビデオ
5,621

貸出数(冊、点)

一般書・雑誌	児童書	視聴覚資料	計
23,212	13,070	14,417	50,699

貸出利用者 12,982人

## ◇博物館

### 基本方針

八戸の風土から生まれ、先人達が守り育ててきた貴重な文化遺産を通じて、豊かな明日を考える。

### 主要事業

内容	
考古展示室	八戸及び八戸周辺から発見された縄文、弥生、古代、中世の出土品を展示。
歴史展示室	現在の八戸の基礎となった八戸藩二万石の誕生から明治維新までを藩主ゆかりの資料や市内旧家に伝わる古文書などで紹介。
民俗展示室	八戸の人々が使用した道具類や一部復元した民家を展示し、漁業・農業・信仰などを紹介。
無形資料展示室	八戸の民話、民謡、わらべ唄、方言、校歌などを紹介。

令和6年度事業内容		令和5年度実績
特別展	「きらめく八戸ー写真・新聞で見る昭和40年代ー」 昭和40年代の八戸は、漁業では3年連続水揚げ量日本一、工業では新産業都市指定による大規模工場の立地、中心街では大型商業施設が次々と出店し、市全体が活気にあふれ、明るい未来を夢見ていました。この時代を写真パネルや新聞記事で紹介し、当時を偲びながら八戸の今後を考える機会とします。(7月20日～9月16日)	「業良キ物ー日本刀の歴史と八戸の刀工ー」 (7月8日～8月27日) 入館者数 5,072人
	「境界線上の彼女たちーねね・鶴姫・南部麻ー」 八戸が歩んできた歴史の分岐点にあって、大きな役割を果たしてきた3人の女性に着目。不安定な時世に家名を背負った彼女たちは、どのように生き、何を残したのか。数少ない関係資料を手掛かりに、それぞれの時代背景を踏まえながら、彼女たちの実情を考察します。 (10月5日～11月24日)	「Jーmode 縄文の流儀」 (10月7日～11月26日) 入館者数 3,797人
企画展	「新収蔵資料展」 前年度に市民の方々から寄贈を受けた資料を紹介。 「Ⅰ期・民俗」(4月13日～5月19日) 「Ⅱ期・歴史」(6月1日～7月7日)	「新収蔵資料展」 (4月29日～5月28日) 入館者数 1,837人
	ミニパネル展「八戸の災害ー災害と供養ー」 東日本大震災の記憶を忘れず、防災への意識を高めるため、防災月間である9月に合わせて、過去に八戸を襲った災害についてパネルで展示する。(9月1日～9月29日)	ミニパネル展「八戸の災害ー東日本大震災ー」 (9月1日～9月30日) 入館者数 1,457人
	新春ミニ企画「えと展ーへびー」 令和7年の干支である「へび」に関する資料を紹介。 (12月7日～1月13日)	新春ミニ企画「えと展ーたつー」 (12月9日～1月14日) 入館者数 739人
	「えんぶり展」 豊作祈願・春を呼ぶ祭りとして開催される国重要無形民俗文化財「八戸えんぶり」に合わせ、えんぶりの起源について記された巻物や明治初期のえんぶりの旗などを紹介。 (1月25日～3月2日)	「えんぶり展」 (2月3日～3月10日) 入館者数 2,314人 (ひな人形展との合計)
	「ひな人形展」 桃の節句にあわせ、八戸の商家に伝えられた享保雛や、日本各地の郷土雛・郷土玩具など、毎年テーマを変えながら紹介。 (2月15日～3月23日)	「ひな人形展」 (2月3日～3月10日) 入館者数 2,314人 (えんぶり展との合計)

## 施設概要

八戸の特色を盛り込んだ人文系の総合博物館を目指して史跡根城跡に隣接して建設し、昭和 58 年 7 月開館した。

- ・所在地 八戸市大字根城字東構 35-1 TEL 44-8111 / FAX 24-4557
- ・総建物面積 約 3,767 m<sup>2</sup>
- ・利用方法 開館時間 午前 9 時～午後 5 時（入館は午後 4 時 30 分まで）  
休館日 月曜日（第 1 月曜日及び祝日を除く）、祝日の翌日、12 月 27 日～1 月 4 日

- ・入場料等（史跡根城の広場は「根城本丸」のみ有料）

		一般	高校生 大学生
博物館	個人	250 円	150 円
	団体(20 人以上)	130 円	80 円
博物館・根城本丸 共通券	個人	400 円	240 円
	団体(20 人以上)	260 円	160 円

※特別展期間中は料金が変わる場合がある。

中学生以下は無料。高齢者（市内の 65 歳以上）及び障がい者手帳をお持ちの方と  
その付き添いの方 1 名は半額。

- ・利用状況（令和 5 年度 年間入館者 合計 18,712 人）

開館 日数	入館者 (人)	個人			団体			割引		免除	小・中学生	
		一般	高校生 大学生	計	一般	高校生 大学生	計	高齢者/ 障がい者	その他		市内	市外
318	18,712	9,421	407	9,828	294	0	294	1,135	316	4,875	1,537	727

- ・教育普及

博物館クラブ	草木染めなどの体験学習を年 10 回開催
講演会	市民のための歴史講座を年 4 回開催 博物館「市民講座」と図書館「市史講座」が連携し、共通のテーマによる 歴史講座を開催。令和 5 年度のテーマは「八戸は海と共にある」
館外学習	八戸城下めぐりなどの館外学習(城歩き含む)を年 4 回開催
体験学習	青森大学ワークショップ「お屠蘇づくり」(12 月 3 日)
	夏休み！寺子屋はちやく(7 月 25 日～8 月 10 日) 市内及び周辺地域の小学生対象 体験メニュー 6 種類から一つ選択 事前予約・先着順(1 日 1 組)
特別公開	国重要有形民俗文化財「八戸及び周辺地域の漁撈用具と浜小屋」年 2 回

- ・博物館附属施設

施設名	所在地	構造	面積	建設年度
民俗資料収蔵庫	八戸市大字鮫町字大平作 44-41	鉄骨造平屋 木造平屋	81.98 m <sup>2</sup> 64.80 m <sup>2</sup>	平成 9 年度 昭和 52 年度
浜小屋	八戸市大字鮫町字大平作 44-129	木造平屋	27.84 m <sup>2</sup>	昭和 48 年度

## 南郷歴史民俗資料館

### 主要事業

常設展	戦時中に八戸、南郷に築かれたトーチカや、昭和 40 年代の町並み、居間を再現し、映像とともに昭和の時代・暮らしを紹介。
-----	---

令和 6 年度事業内容		令和 5 年度実績
特別展	「こけしーみんな なかよしー」 「こけし」は東北地方の各地に伝わる郷土玩具である。当初は子供たちのために作ったものであったが、昭和時代になると、工芸品として大人によって収集されるようになり、たびたび「こけしブーム」が発生した。本展では「こけし」について、系統など基本的な情報を交えながら、その魅力を伝える。 (7月13日～9月1日)	「八戸昭和の鉄道・バス」 (7月15日～9月3日) 入館者数 780人
企画展	ミニコレクション展「そば」 南郷歴史民俗資料館の収蔵資料から「そば」に関する器や、道具などの資料を一堂に会して紹介する (11月30日～3月16日)	ミニコレクション展「そば」 (11月11日～3月17日) ※館内エアコン設置工事のため中止

### 施設概要

南郷の歴史・民俗を紹介する資料館として、昭和 55 年 10 月に開館。平成 3 年には、敷地内に世増地区から古民家を移設し、南郷民具展示館として公開。平成 26 年 4 月 12 日、常設展示等をリニューアルオープン。

- ・所在地 八戸市南郷大字島守字小山田 7-1 TEL・FAX 83-2443
- ・延床面積 753.32㎡
- ・利用方法 開館時間 午前 9 時～午後 5 時（入館は午後 4 時 30 分まで）
- ・休館日 月曜日（第 1 月曜日及び祝日を除く）、祝日の翌日、12 月 27 日～1 月 4 日

#### ・入場料等

	一般	高校生 大学生
個人	150 円	100 円
団体(20人以上)	100 円	50 円

※特別展期間中は料金が変わる場合がある。

中学生以下は無料。高齢者（市内の 65 歳以上）及び障がい者手帳をお持ちの方とその付き添いの方 1 名は半額。

#### ・利用状況（令和 5 年度 年間入館者 合計 1,273 人）

開館 日数	入館者 (人)	個人			団体			割引		免除	小・中学生	
		一般	高校生 大学生	計	一般	高校生 大学生	計	高齢者/ 障がい者	その他		市内	市外
183	1,273	612	26	638	64	36	100	113	192	35	166	29

#### ・教育普及

体験学習	しめ飾りづくり
館外講座	南郷文化財めぐりなど移動学習を年 4 回開催
なんごうあそび のひろば	暗闇で光る透けるとんお手玉づくりなど親子を対象とした体験学習を年 4 回開催

- ・南郷歴史民俗資料館附属施設

施設名	所在地	構造	面積	建設年度
南郷民具展示館	八戸市南郷大字島守小山田7-1	木造平屋	152.84 m <sup>2</sup>	平成3年度

## 史跡根城の広場

### 施設概要

根城は、南部師行により1334年に築城されたと伝えられ、南北朝時代には北奥羽における南朝方の中心的存在として活躍した武将の館である。

史跡根城跡は、昭和16年12月に国史跡に指定され、平成6年10月に復原、史跡根城の広場としてオープンした。

- ・所在地 八戸市大字根城字根城47 TEL 41-1726（管理事務所） / FAX 41-1756
- ・整備面積 約30,000 m<sup>2</sup>
- ・総建物面積 約1,118.4 m<sup>2</sup>（主殿、馬屋、工房、鍛冶工房、板蔵、納屋等）
- ・利用方法 開場時間 午前9時～午後5時（入場は午後4時30分まで）  
休場日 月曜日（第1月曜日及び祝日を除く）、祝日の翌日、12月27日～1月4日

- ・入場料等（根城本丸のみ有料）

		一般	高校生 大学生
根城本丸	個人	250 円	150 円
	団体(20人以上)	130 円	80 円
根城本丸 博物館共通券	個人	400 円	240 円
	団体(20人以上)	260 円	160 円

※博物館の特別展期間中は共通券の料金が変わる場合がある。

中学生以下は無料。高齢者（市内の65歳以上）及び障がい者手帳をお持ちの方とその付き添いの方1名は半額。

- ・交通機関 バス：JR・青い森鉄道八戸駅から15分（田面木経由中心街方面行・根城下車）  
自家用車：八戸自動車道（八戸インターチェンジから5分）

- ・利用状況（令和5年度 年間入場者 合計 23,697人）

開場 日数	入場者 (人)	個人			団体			割引		免除	小中学生	
		一般	高校生 大学生	計	一般	高校生 大学生	計	高齢者/ 障がい者	その他		市内	市外
318	23,697	10,330	414	10,744	578	0	578	723	371	9,984	843	454

### 史跡根城の広場管理運営事業

平成18年4月1日から指定管理者制度を導入。

- ・指定管理者 一般財団法人VISITはちのへ
- ・期間 令和元年度～令和5年度（第4期目）
- ・指定管理者実施事業

事業名	令和6年度日程	令和5年度実績
城の日	4月6日	4月6日 46人
史跡根城さくらまつり		4月23日 680人
さくらWeeK!	4月12日～4月21日	
鎧と小袖姿で記念撮影①	5月1日～5月6日	5月1日～5月7日 183人
根城記念祭	5月22日	5月22日 104人

春の収穫祭（梅）	6月19日・20日	6月13日・14日	48人
史跡根城まつり	10月12日	10月8日	6,110人
鎧と小袖姿で記念撮影②	11月9日・10日	10月28日・29日	32人
イチョウWeek!	11月8日～11月17日	11月3日～11月12日	1,135人
史跡根城・えんぶり公演	2月18日・19日	2月18日・19日	890人
根城おもしろ講座	根城の広場を活用した講演会や体験学習を年9回開催	根城の広場を活用した講演会や体験学習を年9回開催	

### 史跡根城跡環境整備事業

平成30年度に改定した保存活用計画に基づき、史跡の本質的価値を損なうことなく市民が親しみ活用できる史跡公園としての整備・活用を図るため、令和元年度に史跡根城跡第2次整備基本計画を策定した。令和2年度から、第2次整備基本計画に則って整備事業を推進する。

## ◇文化創造推進課

### 八戸市文化教養センター（南部会館）

#### 施設の概要

最大で144畳となる和室のほか、板の間、舞台などを備えた集会施設。和室A（24畳）、和室B、C、D（各48畳・一括使用144畳）、舞台（49.7㎡）、板の間（39.6㎡）、準備室（15.0㎡）、控室（4.5畳）、四阿（13.63㎡）。

- ・所在地 八戸市内丸三丁目3-6 TEL 43-9202
- ・敷地面積 3,212.01㎡ ・建築面積 922.963㎡（四阿13.63㎡含む）
- ・竣工 昭和60年3月
- ・利用方法 開館時間 午前9時～午後9時  
休館日 月曜日（祝日の場合は翌日）、年末年始（12月28日～1月4日）  
使用期日 連続で利用できる期間3日以内  
使用申込 使用12ヶ月前から3日前まで  
受付時間 午前9時～午後6時（休館日、年末年始を除く）
- ・指定管理者 株式会社デーリー東北新聞社

#### 令和5年度利用状況（ ）は前年比

開館日数	稼働日数	稼働割合	利用者数
303日（-1日）	255日（+26日）	84.2%（+8.4ポイント）	14,248人（+9,794人）

#### 令和5年度指定管理者自主事業（主なもの）

No.	実施月日	事業名
1	月毎	ロビー展【延べ5,759人来館】 ツキイチツクル【延べ657人来館】
2	7月31日～8月4日	八戸三社大祭期間中の無料休憩所開設【延べ4,725人来館】 【八戸三社大祭関連企画】 ・うちわ作りワークショップ・八戸南部藩の歴史講座
3	2月17日～2月20日	八戸えんぶり期間中の無料休憩所開設【延べ1,111人来館】 【八戸えんぶり関連企画】 ・三味線演奏会・親子でミニえぼしをつくろう ・えんぶり講座・オカリナ演奏会

### 八戸市公会堂

#### 設置の目的

昭和50年5月1日開館。

当市における芸術文化の普及振興を図り、市民生活の向上に寄与することを目的に設置された。

#### 施設の概要

大ホールは間口18m、奥行き18m、高さ9mのプロセニウム形式の舞台を有し、収容人員は1,532人となっている。舞台はオーケストラピット、迫り上げ装置1基、各種の音響、照明機材を備え、楽屋8室と浴室が設備されている。他にリハーサル室（大会議室）、小会議室、展示室、食堂施設の設備がある。

- ・所在地 八戸市内丸一丁目1-1 TEL 44-7171 / FAX 44-7176
- ・建物総面積 9,538㎡
- ・利用方法 開館時間 午前9時～午後10時  
休館日 月曜日（祝日の場合は翌日）、年末年始（12月28日～1月4日）  
使用期日 連続で利用できる期間3日以内

- 使用申込    ホール、展示室：使用 12 ヶ月前から 14 日前まで  
                  リハーサル室又は会議室：使用 12 ヶ月前から 3 日前まで  
                  楽屋、浴室又は設備、器具等：使用 12 ヶ月前から使用当日まで
- 受付時間    午前 9 時～午後 5 時（年末年始を除く）
- ・指定管理者    株式会社アート&コミュニティ

#### 令和 5 年度利用状況

区 分	利用件数	利用人数	利 用 率
ホール	217 件	122,240 人	67.2%
リハーサル室等	242 件	11,370 人	25.1%
その他（※）	—	14,310 人	—
計	459 件	147,920 人	—

※ホールやリハーサル室等以外の利用

#### 令和 5 年度八戸市公会堂文化事業（市主催事業）

No.	実施月日	事 業 名	入場者数
1	8 月 27 日	半崎美子コンサート	436 人
2	9 月 23 日、24 日	HACHINOHE ナリキリ音楽祭×HACHINOHE フォークジャンボリー	583 人
3	9 月 27 日	角笛シルエット劇場	916 人
4	11 月 8 日	鎌倉能舞台 能楽・狂言ワークショップ	200 人
5	11 月 21 日	新人演奏会	176 人
6	2 月 25 日	八戸パフォーマンス劇場・はちのへ子どもフェスタ	2,448 人
7	3 月 23 日	宝くじ文化公演 秋川雅史・渡辺真知子コンサート	1,478 人

#### 企業版ふるさと納税を活用した文化芸術鑑賞機会創出事業（市主催事業）

「はちのへ文化のまちづくりプラン」に基づく文化施策の一環として企業版ふるさと納税を活用し、市内の高校生やひとり親世帯、障がい者等約 200 名をオペラ公演へ無料招待し、文化芸術の鑑賞機会を提供。

寄 附 企 業 名：銀河環境計画株式会社

寄 附 金 額：1,000 千円

寄附活用事業：藤原歌劇団公演「蝶々夫人」八戸公演への無料招待

公 演 日：8 月 13 日

令和5年度指定管理者自主事業（主なもの）

No.	実施月日	事業名	入場者数
1	4月8日	東奥日報社創刊135周年記念 山形交響楽団 八戸公演	1,403人
2	5月14日	高嶋ちさ子・加羽沢美濃～ゆかいな音楽会～	1,500人
3	6月9日	SUPER BEAVER 都会のラクダ HALL TOUR 2023	1,500人
4	7月15日	DRUM TAO「夢幻響」	1,500人
5	3月10日	八戸ファンタジィ	1,500人

八戸市公民館（八戸市公会堂文化ホール）

設置の目的

昭和52年5月1日開館。

八戸市全域の住民の教養向上、健康増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的に設置された。

施設の概要

ホールは間口14m、奥行き8.5m、高さ7.5mの舞台を有し、収容人員は507人となっている。舞台は、迫り上げ装置1基、各種の音響、照明機材を備え、楽屋4室が設備されている。他に会議室4室、和室2室、講義室、調理室、展示室、展示ロビーの設備がある。

- ・所在地 八戸市内丸一丁目1-1 TEL 45-1511 / FAX 44-7176
- ・建物総面積 4,681㎡
- ・利用方法
 

開館時間	午前9時～午後10時
休館日	月曜日（祝日の場合は翌日）、年末年始（12月28日～1月4日）
使用期日	連続で利用できる期間3日以内
使用申込	ホール、展示室又は展示ロビー：使用12ヶ月前から14日前まで 会議室、和室、講義室又は調理実習室：使用12ヶ月前から3日前まで 楽屋又は付属設備：使用12ヶ月前から使用当日まで
受付時間	午前9時～午後5時（年末年始を除く）
- ・指定管理者 株式会社アート&コミュニティ

令和5年度利用状況

区分	利用件数	利用人数	利用率
ホール	184件	36,640人	56.5%
会議室、講義室等	998件	23,220人	32.5%
その他（※）	—	7,180人	—
計	1,182件	67,040人	—

※ホールや会議室、講義室等以外の利用

令和5年度指定管理者自主事業（主なもの）

No.	実施月日	事業名	入場者数
1	5月19日・20日	八戸市公民館特別企画演劇公演「真夜中のサーカス」	590人
2	8月11日～20日	八戸イカール国際音楽祭・イカール国際ミュージックキャンプ	786人
3	10月7日～1月5日	うみねこ演劇塾	457人
4	1月6日	うみねこ演劇塾発表会	340人
5	1月8日	安藤昌益フェスティバル 榎谷伸夫一人芝居「出立つ日」	370人

八戸市南郷文化ホール（スウィングベリ－NANGO）

設置の目的

平成20年6月1日開館。

芸術文化の発表及び鑑賞の機会を提供することにより、芸術文化の普及振興を図るとともに広域的文化交流を促進し、市民生活の向上に寄与することを目的に設置された。

施設の概要

ホールは間口16.8m、奥行き8.5m、高さ7mの舞台を有し、収容人員は450人となっている。また、1階は、410人の可動席を収容し約20m四方のオープンスペースとして使用が可能である。2階にはガラスで仕切った親子席10席も設けてあり、幼い子どもと一緒に鑑賞ができる。舞台は各種の音響、照明機材を備え、楽屋4室とシャワー室2室が設備されている。

・所在地 八戸市南郷大字市野沢字中市野沢24-1 TEL 60-8080 / FAX 60-8081

・建物総面積 1,765 m<sup>2</sup>

・利用方法 開館時間 午前9時～午後10時

休館日 月曜日（祝日の場合は翌日）、年末年始（12月28日～1月4日）

使用期日 連続で利用できる期間3日以内

使用申込 ホール：使用12ヶ月前から14日前まで

（練習利用は、使用2ヶ月前から3日前まで）

受付時間 午前9時～午後5時（休館日、年末年始を除く）

・指定管理者 株式会社アート&コミュニティ

令和5年度利用状況

区分	利用件数	利用人数	利用率
ホール	177件	14,560人	52.9%
その他（※）	—	1,634人	—
計	177件	16,194人	—

※ホール以外の利用

### 令和5年度八戸市南郷文化ホール文化事業（市主催事業）

No.	実施月日	事業名	入場者数
1	5月28日	海上自衛隊大湊音楽隊ふれあいコンサート	406人
2	8月10日、11日、 12月9日、10日	一般財団法人地域創造 令和5年度リージョナルシアター事業	106人
3	9月24日	南郷アートジャムフェスタ	307人
4	9月30日	ジュニアジャズコンサート	361人
5	10月1日	スウィングベリージャズパーティー	215人
6	1月7日	県南民舞踊まつり	253人
7	2月4日	南郷郷土芸能発表会	447人

### 令和5年度八戸市南郷文化ホール文化公演事業（市主催事業）

No.	実施月日	事業名	入場者数
1	11月23日	及川浩治ピアノ・リサイタルトーク&コンサート「名曲の花束」	369人
2	1月20日	村治佳織ギターリサイタル Canon	399人

### 令和5年度指定管理者自主事業（主なもの）

No.	実施月日	事業名	入場者数
1	7月26日	公文協アートキャラバン事業「カラフルパズル」	81人
2	8月6日、12月17日	スウィングベリーでおはなし会（夏・冬）	117人
3	9月18日	こどもはっち秋の文化公演「人形劇団プーク」	420人
4	10月22日	ショウワ ナンゴウ サウンズ	31人
5	3月24日	スウィングベリージャズオーケストラコンサート	202人

## 八戸南部氏庭園

### 施設の概要

八戸南部氏庭園は、第9代八戸藩主であった南部信順公の時代（1847年）に造られたとされており、藩政時代の庭園芸術を今日に伝えるものである。平成17年度から、植栽樹木が見頃となる春と秋の年2回庭園を一般開放している。

- ・所在地 八戸市売市四丁目23-3
- ・庭園総面積 6,639㎡

## 利用の状況

区 分	開園期間	入場者数
春の開園	5月26日(金)～5月29日(月)	553人
秋の開園	11月10日(金)～11月13日(月)	1,074人
合 計	—	1,627人

## 八戸市立集会場（更上閣・更上閣にぎわい広場）

### 施設の概要

更上閣は、かつての財閥である泉山家の邸宅として明治30年頃に建築された建物で、平成15年に国の登録有形文化財となった。現在は集会場として使用されている。大広間（35畳）、1・2・3号室（各8畳）、会議室（18畳）、にぎわい広場（1,778.63㎡）。

- ・所在地 八戸市大字本徒士町5番地4 TEL 22-2260
- ・敷地面積 7,433.99㎡（にぎわい広場を含む）
- ・建築面積 501.27㎡
- ・利用方法
  - 開館時間 午前9時～午後9時
  - 休館日 年末年始（12月28日～1月4日）
  - 使用期日 連続で利用できる期間5日以内
  - 使用申込 使用6ヶ月前から2日前まで
  - 受付時間 午前9時～午後5時（休館日、年末年始を除く）
- ・指定管理者 三八五交通株式会社

### 令和5年度利用状況（ ）は前年度比

開館日数	稼働日数	稼働割合	利用者数
359日(+2日)	348日(+9日)	96.9%(+1.9%)	17,025人(+6,939人)

### 令和5年度実施事業（市主催事業）

No.	実施月日	事業名
1	6月8日～11日	更上閣ガーデンレストラン・ヨルニワ（音楽イベント） ガーデンレストラン：飲食店延べ12店舗の出店、来場者数延べ874人 ヨルニワ：3組の出演、来場者数359人
2	10月11日～14日	更上閣ガーデンレストラン・ヨルニワ（音楽イベント） ガーデンレストラン：飲食店延べ11店舗の出店、来場者数延べ769人 ヨルニワ：3組の出演、来場者数317人

### 令和5年度指定管理者自主事業

No.	実施月日	事業名
1	4月29日～5月7日	第8回更上閣武者人形展 【来場者数延べ888人】
2	9月16日	下北の能舞 更上閣公演 【来場者数128人】
3	9月17日～18日	閣フェス2023 【来場者数延べ271人】
4	10月28日～11月12日	第7回更上閣菊花展 【来場者数延べ1,290人】
5	1月9日～14日	更上閣羽子板展 【来場者数延べ350人】
6	3月1日～24日	第15回更上閣ひなまつり展 【来場者数延べ2,736人】

八戸市文化賞受賞者名簿

回	年度	受賞者	受賞分野	備考
51	H25	小川重子 千田節生	工芸 (プレストフラワー) 文芸 (短歌)	
52	26	細越テツ子 齋藤昌子 赤坂イネ子 高橋良之	書道 日本舞踊 新舞踊 音楽	(号 玉蓮) (花柳 葉昌栄) (花美 稲扇佳)
53	27	市川光作 三浦博子 村上寛	民俗芸能 書道 美術工芸	(号 芳汀) (高橋 寛子)
54	28	土井三乙 吉田幸子 木村由記子 豊島重之 女声コーラス プリマヴェーラ	俳句 絵画 洋裁 舞台芸術 合唱	(モード・由記)
55	29	清野耕司 類家きぬ 藤島廣司 佐々木玲子 吉田千嘉子 五戸敏明 宮古博文	バトントワリング 生活文化 (編物) 絵画 華道 俳句 書道 書道	(類家 絹子) (号 陽紅) (号 光岳) (号 文雪)
56	30	大久保隆允 高橋千恵 鈴木陽子 田中知佐好	音楽 (合唱) 俳句 絵画 書道	(高橋 千恵) (菅原 陽子) (号 扇溪)
57	R元	奥田卓司 小笠原節子 清川和子 佐藤千鶴子 柳町洋子	俳句 書道 茶道 生活文化 (洋裁) 書道	(星奥庵 卓司) (号 素心) (号 宗和) (号 祥香)
58	2	木立徹 石田和子	短歌 書道	
59	3	荒瀬久子 岩澤京子 漆畑幸男 嵯峨昭彦 佐藤功 藤村誠	華道 書道 絵画 音楽 書道 書道	(号 豊波) (号 翠汀) (号 翠洋) (号 竹風)
60	4	重茂操 杉本敦子	日本舞踊 書道	(若柳 貴久永)
61	5	木村久夫 木村廣子 高橋敏志	人文科学 書道 詩吟	(木村 翠川) (岳粹)

※受賞者氏名に使用されている文字が異体字の場合、代替文字を使用している場合があります。

八戸市文化奨励賞受賞者名簿

回	年度	受賞者	受賞分野	備考
47	H24	木村 由記子 今 順子	洋裁 俳句	
48	25	藤村 誠 立崎 由里子	書道 書道	(号 竹風) (号 小苑)
49	26	該当者無し		
50	27	前田 利久	写真	
51	28	該当者無し		
52	29	吹上山車組 向陵高等学校バトン部 河原木 高志 佐藤 としえ	民俗行事 バトントワリング 書道 書道	(号 孤邨) (号 寿恵)
53	30	村田 加壽子	俳句	(村田 加寿子)
54	R元	該当者無し		
55	2	佐々木 絵理子 中川 慧梧 木村 廣子 山道 奈津子	短歌 将棋 書道 書道	(号 翠川) (号 西奈)
56	3	黒田 長子 佐藤 恭子	俳句 書道	
57	4	佐藤 栄子 川向 美穂子	書道 書道	(号 小菊) (号 游香)
58	5	清水 良子 吉田 裕子	書道 書道	(清水 畦花) (吉田 溪花)

※受賞者氏名に使用されている文字が異体字の場合、代替文字を使用している場合があります。

## ◇美術館

### 概要

「出会いと学びのアートファーム」をコンセプトとし、誰もが気軽にアートに触れられる機会を提供する「展覧会」と、市民とともにアートを介して出会いや学びを誘発する、様々な「プロジェクト」を行う。

### 主要事業

#### ○展覧会・プロジェクト

展覧会名	内容	令和5年度実績
企画展「美しいHUG！」	八戸市美術館の「ホワイトキューブ」と「ジャイアントルーム」を二つでひとつとして一体的に捉え、「作品」と「人」がひとつにHUGするような作品とプロジェクトで構成する企画。	会期：R5. 4. 29(土) ～R5. 8. 28(月)  観覧者数：8,363人
	・トークプログラム「注文の多い美術館」 八戸市美術館をテーマに、参加作家やゲストによるトークプログラムを開催。 ①ホワイトキューブとストリート ②アートプロジェクトと青森 ③黒川岳 アーティストトーク ④タノタイガ アーティストトーク ⑤井川丹 アーティストトーク ⑥ジャイアントルームとコレクション	日時： ①4. 29 (土)、②4. 30 (日)、 ③7. 9 (日)、④8. 20 (日)、 ⑤8. 26 (土)、⑥8. 27 (日)  参加者数： ①30人、②29人、 ③20人、④25人、 ⑤20人、⑥40人
	美しいHUG！ガイドツアー 学芸員がそれぞれに切り口を替えて、展覧会を案内。 ①美術館スタッフに聞く見どころツアー ②手話付きガイドツアー ③建築家と見るガイドツアー ④造園屋さん和見るガイドツアー ⑤野点プロジェクトメンバーと見るガイドツアー ⑥タノミマスプロジェクトメンバーと巡るガイドツアー	日時： ①5. 20 (土)、②6. 3 (土)、 ③6. 17 (土)、④7. 8 (土)、 ⑤7. 22 (土)、⑥8. 5 (土)  参加者数： ①12人、②18人、 ③15人、④10人、 ⑤8人、⑥8人
企画展「ロートレックとベル・エポックの巴里—1900年」	1900年前後の数十年間、パリが世界有数の大都市として発展した時代「ベル・エポック」。当時を代表する芸術家のひとり、アンリ・ド・トゥールーズ＝ロートレックをはじめ、ドガやミュシャらの石版画、油彩画など約300点の作品を展示。	会期：R5. 11. 3(金・祝) ～R5. 12. 25(月)  観覧者数：7,520人
	・オープニングコンサート 八戸市出身のソプラノ歌手・泉萌子と、ピアニスト・佐藤慎悟による公演。	日時：R5. 11. 3(金・祝) 参加者数：約150人
	・ギャラリートツアー 担当学芸員が展覧会を解説	日時： ①11. 4(土)、②11. 5(日)

	①～②学芸員のみ ③～④ゲスト：佐々木遊 ④のみ：手話通訳付	③12.2(土)、④12.3(日) 参加者数：①15人、②20人、 ③20人、④12人
	・アートミュージアム晚餐会 ジャイアントルームにテーブルを連ね、市内ホテルのシェフ、ソムリエによる地元食材を使った展覧会コラボメニューを堪能。また、社交ダンス界で数々のチャンピオンに輝き、八戸特派大使でもある増田大介・塚田真美組による社交ダンス公演や、RABアナウンサーと担当学芸員による展覧会見どころトークも行った。	日時：R5.11.29(水) 参加者数：40人
	・木版リトグラフをつくってみよう！ プライウッドを使い、簡易的なリトグラフ制作を体験。	日時：①11.18(土)、 ②12.16(土) 参加者数：①10人、②10人
特別貸館「デジタルとアナログで創造する藤井フミヤ展 Fumiyart2024」 (主催：(株)デーリー東北、 共催：八戸市美術館)	国内トップクラスのミュージシャンである藤井フミヤ氏による、多様な表現を用いた作品を通して、藤井フミヤ氏が創造するクリエイティブな世界観を紹介する展覧会	会期：R6.1.20(土) ～R6.3.25(月) 観覧者数：12,681人
	・オープニングスペシャルトーク「藤井フミヤ×日比野克彦」	日時：R6.1.20(土) 参加者数：80人
	・オープニングスペシャルトーク全編上映	日時： ① R6.2.24(土)～2.25(日) ② R6.3.10(日) ③ R6.3.16(土)～3.17(日) ④ R6.3.22(金)～3.25(月) 参加者数：各回50人
コレクションラボ 004 伊藤二子一生のかたちー	昭和から平成にかけて「非具象」による表現を探求し続けた伊藤二子の、生きることへの問い掛けや心の内を、躍動感あふれる作品16点により紹介。	会期：R5.2.24(金) ～R5.4.10(月) 観覧者数： 674人(R5年度) ※3,480人(全会期)
コレクションラボ 005 奏でる工芸	音をテーマにした工芸作品の展示。鳴らすことができる楽器も展示することで、音を楽しみながら作品鑑賞する場を設けた。	会期：R5.9.9(土) ～R5.12.18(月) 観覧者数：8,525人
	・ギャラリートーク 解説と対話型鑑賞を織り交ぜ、ギャラリートークを行った。	R5.9.9、10.14、11.11、12.9 参加者数14人(延べ)
	・みんなで創る、工芸のおんがくワークショップ 実際に作品を鑑賞し、おんがくをつくるワークショップを実施した。 講師 安田美央(音楽家)	R5.9.24(日) 参加者数 11人
	・簡易金継ぎワークショップ 工芸技法体験ワークショップを実施した。 講師 島守宏和(漆芸家)	R5.12.2(土)～12.3(日) 計4回実施 参加者数 19人(延べ)
コレクションラボ 006 美の殿堂 鈴木コレクション	女性や花などをモチーフとした写実画を中心に、個人コレクションが「美の	会期：R5.12.23(土) ～R6.3.18(月)

	殿堂」と呼ばれる「美術館」の起源の一つであることに着想を得た展覧会として、鈴木コレクションの華やかな世界を紹介。	観覧者数：10,308人
	・ほろ酔い鑑賞「ほろはち」 八戸ワインを味わったあと、ほろよい気分で作品鑑賞するイベント。	R6. 1. 26(金) 参加者：11人
	・トークイベント「美の殿堂ができるまで」 美術評論家の暮沢剛巳氏を招き、「美の殿堂＝美術館」ができるまでの歴史を学ぶ。	R6. 2. 25(日) 参加者：12人
	・ギャラリートーク 担当学芸員が展覧会を解説	R6. 3. 2(土) 参加者：12人
コレクションラボ 007 大久保景造と八戸文化	画家として、抽象、具象、墨彩や水彩と多様な絵を描いたのみならず、詩人、ジャズ喫茶・バー「車門」の店主、カルチャー雑誌の編集、合唱の作詞、市民創作オペラの台本制作など、多彩なジャンルの文化人であった大久保景造を紹介し、あわせて八戸のカルチャーシーンを概観する展覧会。	会期：R6. 3. 23(土) ～R6. 7. 8(月) 観覧者数： 1,096人 (R5年度分) ※7,333人 (全会期)
伊藤二子プロジェクト×八戸市美術館 共催企画 伊藤二子回顧展ーその一瞬ー	伊藤二子プロジェクトが管理している作品約60点を展示し、一瞬の輝きのかげらともいえる作品とともに、伊藤二子の半生を回顧する。	R5. 3. 17(金)～4. 2(日) 観覧者数 420人 (R5年度) ※3,482人 (全会期)
	・ワークショップ「二子さんみたいにかいてみよう」	R5. 4. 2(日) 参加者：13人
	・ギャラリートーク「二子さんのみたかったもの(景色)」	R5. 4. 2(日) 参加者：12人
共催による展示	仲條正義名作展	R5. 4. 22(土)～5. 21(日) 入館者数：7,651人 主催：仲條デザイン事務所
	八戸市美術展前期展示 -書道・学生書道展-	R5. 9. 21(木)～9. 24(日) 入館者数：2,309人 主催：八戸市文化協会
	八戸市美術展後期展示 -絵画・写真・生活文化-	R5. 9. 28(木)～10. 1(日) 入館者数：2,483人 主催：八戸市文化協会
	第56回八戸市小学校生徒美術展	R5. 9. 28(木)～10. 1(日) 入館者数：4,683人 主催：八戸市小学校図工工作科教育研究会
	新春屏風展	R6. 1. 2(火)～1. 22(月) 入館者数：5,035人 主催：帆風美術館
	第60回八戸市中学校生徒美術展	R6. 2. 29(木)～3. 3(日) 入館者数：5,035人 主催：八戸市中学校教育研究会美術部会

○アートファーマープロジェクト

事業名	内容	令和5年度実績
八戸市美術館建築ツアーガイド	講座を通して八戸市美術館の建築について学んだアートファーマーがガイド役となり、来館者を案内する。	講座：R5. 11. 12（日） ～R6. 1. 27（土） ガイド：毎月最終土曜日 ガイドスタッフ参加者数： 19人（1期生10人、2期生6名、3期生3人）
あそらぼ！	冬休みイベント「あそらぼ！創作パズル・ゲーム展」を運営するプロジェクト。	アートファーマー参加者数： 12人 活動実績：準備・レクチャー3回、会期中の運営
アートファーマーミーティング	「アートファーマープロジェクト」のこれまでとこれからを、これまで活躍してきたアートファーマーとアーティスト、そしてゲストとともに考えるミーティングを開催。	日時：R6. 3. 16（土） 参加者数：30人
きむらとしろうじんじん 八戸野点 2023 in 旧三春屋前、美術館広場	陶芸家・美術家のきむらとしろうじんじんが、市民のメンバーとともに魅力的な場所を探し、お茶碗の絵付けやお抹茶を楽しんでもらう「野点」をR4年度より継続して実施。R5年度は、中心街の旧三春屋前と、美術館前の2か所を会場とし、美術館前では、それぞれのやってみたいことを屋台として展開する「妄想屋台」も併せて実施。	R5. 5. 3（日）～10. 7（土） プロジェクトメンバー：41人、一般参加者延べ140人（絵付け100人、抹茶のみ40人）、その他見学500人、妄想屋台出展者10組13人
タノミマスプロジェクト	展覧会「美しいHUG！」の出展作品「タノミマス」の準備や会期中の運営を行うプロジェクト。	第4回：R5. 4. 23（日） 参加者：16人 （1～3回はR4年度実施） 会期中の運営： R5. 4. 29（土）～8. 28（月） 参加者：計27人
	・小学校出張ワークショップ	・三条小学校 R5. 6. 19（月） 参加者数：4年生53人 ・多賀小学校 R5. 6. 20（火） 参加者数：1. 2年生33人 ・金浜小学校 R5. 6. 22（木） 参加者数：全校12人

○学校連携プロジェクト

事業名	内容	令和5年度実績
学校連携プロジェクト会議	プロジェクトチームのメンバー（小中高教員、美術教育専門家、美術館スタッフ）による全体会議を3回開催し、活動内容の検討や、授業で活用できる研修等を行った。	日時：①R5.7.6(木)、 ②11.30(木)、 ③R6.2.29(木) メンバー数：20人
美術館新聞部 プロジェクト	小中学生と高校生が、新聞をつくるプロジェクト。昨年度に続いて展覧会やアーティスト、近隣の店舗を取材し、第3号を刊行した。	日時：R3.3.22(月) ～継続中 参加校数：3校 参加者数：13人
はみ出す力展 vol.5 - 図工・美術の授業展への出展	全国の教員らが図工・美術の授業を展示する展覧会に参加し、学校連携プロジェクトの取組をパネルで展示した。	会期：R5.11.17(金) ～R5.11.19(日) 会場：川口総合文化センター リリア展示ホール
PUTI PUTI LAND	武蔵野美術大学の学生アーティストグループによる、プロジェクト。プチプチ（気泡性緩衝材）で立体遊具を作り設置。プチプチを使って自由工作ができるワークショップを開催した。事前準備のボランティアとして中学生が参加した。	日時：R5.7.29(土) ～R5.7.30(日) ボランティア人数：50人 参加者数：150人

○アートの学び事業

事業名	内容	令和5年度実績
三校連携「創作ワークショップ」	八戸学院大学・八戸学院大学短期大学部、八戸工業大学、八戸工業高等専門学校の長を生かした、アートを切り口としたワークショップを開催。	開催数：5回 参加者数合計：81人
学生×社会人のアートの学び実践講座事業	外部講師を招聘し、学生と一般参加の社会人が一緒にワークショップやディスカッション等を行いながら、「アートから生まれるプロダクト」又は「Well-being」について考え、実践につながる講座を開催する。	開催数：3回 参加人数：42人
美術館のアクセシビリティ向上事業	・美術館の展覧会の会期中、「八戸学院まちなカラボ」に保育士を目指している学生が運営する託児スペースを開設する。 ・美術館の展覧会の会期中の休館日に、小さな子供とその家族が気兼ねなく鑑賞できる日「ベビーファーストデー」を運営する。	・託児ルーム 開設数：8回 利用者数合計：50人 ・ベビーファーストデー 実施日数：2日 利用者数：44人

## 5 委員名簿

### 八戸市教育委員会委員

令和6年10月1日現在

氏名	委員任期
福井 武久	令和3年10月1日～令和7年9月30日
西山 康巳	令和4年10月1日～令和8年9月30日
小澤 直子	令和5年10月1日～令和9年9月30日
久保 千恵子	令和6年10月1日～令和10年9月30日

### 八戸市社会教育委員

任期 令和6年5月1日～令和8年4月30日

令和6年10月1日現在

区分	役職	氏名	所属機関・団体名(職)等
学校教育関係者		田村 元	八戸市私立幼稚園協会 理事
		川村 洋	八戸市小学校長会 副会長
		伊崎 己治	八戸市中学校長会 会長
社会教育関係者		富岡 朋尚	八戸市連合父母と教師の会 会長
		滝尻 善友	一般社団法人八戸青年会議所 理事長
		山本 忠	八戸海洋少年団 指導員
家庭教育関係者		新井谷 昌江	特定非営利活動法人はちのへ未来ネット 事務局長
	副委員長	松本 亜矢子	八戸おはなしの会紙風船 書記
学識経験者	委員長	根城 隆幸	八戸学院大学 地域経営学部地域経営学科 教授
	副委員長	川守田 礼子	八戸工業大学 感性デザイン学部感性デザイン学科 教授
		鈴木 康弘	八戸学院大学短期大学部 幼児保育学科 講師
公募		楳内 有希子	
		上斗米 正子	

## 八戸市文化財審議委員

任期 令和6年5月1日～令和8年4月30日

令和6年10月1日現在

区分	役職	氏名	所属機関・団体名(職)等
学識経験者	委員長	滝 尻 善 英	青森県文化財保護協会 会長
	副委員長	高 橋 晃	北奥羽自然史研究所 所長
		工 藤 竹 久	史跡根城保存会 会長
		熊 谷 隆 次	八戸工業大学第二高等学校 教諭
		斎 藤 政 人	アレック情報ビジネス学院 建築科 非常勤講師
		山 田 泰 子	八戸市美術館 美術専門監

## 八戸市天然記念物蕪島ウミネコ繁殖地保存活用計画検討会議委員

任期 令和6年5月1日～保存活用計画策定

令和6年10月1日現在

区分	役職	氏名	所属機関・団体名(職)等
学識経験者	会長	幸 丸 政 明	岩手県立大学 名誉教授
	副会長	高 橋 晃	北奥羽自然史研究所 所長
		成 田 章	青森県立八戸聾学校 教頭
		富 田 直 樹	山階鳥類研究所 研究員
		進 藤 順 治	北里大学獣医学部 教授
		鮎 川 恵 理	八戸工業大学工学部 教授
地域関係者		高 村 博 現	一般財団法人VISITはちのへ 事務局次長兼誘客推進課長
		野 澤 俊 雄	蕪嶋神社 宮司
		佐々木 眞 悦	鮫町連合町内会 会長
		関 野 稔	八戸鮫浦漁業協同組合 組合長
		杉 本 健 一	鮫観光協会 会長

## 八戸市埋蔵文化財センター—是川縄文館運営協議会委員

任期 令和6年8月26日～令和8年3月31日

令和6年10月1日現在

区分	役職	氏名	所属機関・団体名(職)等
学識経験者		山 下 治 子	株式会社アム・プロモーション 代表取締役
		北 野 博 司	東北芸術工科大学文化財保存修復研究センター センター長
		菅 原 弘 樹	奥松島縄文村歴史資料館 文化財専門官
		清 水 輝 大	板橋区立教育科学館 館長
団体推薦者		木 村 和 彦	株式会社デーリー東北新聞社 取締役編集局長
		新 山 聡	八戸市立是川小学校 校長

## 八戸市博物館協議会委員

任期 令和5年6月1日～令和7年5月31日

令和6年10月1日現在

区分	役職	氏名	所属機関・団体名（職）等
学識経験者	会長	工藤 竹久	元八戸市博物館 館長
	副会長	滝尻 善英	八戸市文化財審議委員委員長
		有馬 克美	元青森県立郷土館協議会委員
		鳥谷部 隆雄	デーリー東北新聞社 論説委員長
社会教育関係者		元 沢 弘志	根城史跡ボランティアガイドグループ代表
家庭教育関係者		平 間 恵美	特定非営利活動法人はちのへ未来ネット 代表理事
学校教育関係者		工藤 由貴子	駒沢幼稚園 園長
		新 山 聡	八戸市立是川小学校 校長
		高 橋 英臣	八戸市立島守中学校 校長

## 八戸市青少年問題協議会委員

任期 令和5年7月1日～令和7年6月30日

令和6年10月1日現在

区分	役職	氏名	所属機関・団体名（役職名）
関係行政機関		齋藤 信哉	八戸市教育委員会 教育長
		太田 辰治	八戸警察署 刑事生活安全官
学識経験者		小橋 和志	八戸市社会福祉協議会 常務理事
		滝尻 善友	八戸青年会議所 理事長
		小笠原 光佑	八戸市連合父母と教師の会 副会長
	会長	竹花 剛二	八戸市小学校長会 多賀台小学校校長
	副会長	横濱 由紀	八戸市中学校長会 東中学校校長
		田中正子	八戸地区保護司会 副会長
		吉岡 義久	八戸市青少年生活指導協議会連合会 副会長
		高橋 昌樹	八戸市少年団体活動振興協議会 理事
		田邊 伸子	八戸市民生委員児童委員協議会 会計
		田名部 和彦	八戸市スポーツ協会 副会長
		平野 悦子	八戸地区連合防犯協会 八戸地区連合防犯女性部長
		田島 博文	三八地区高等学校生徒指導部会 部会長
		富岡 節子	八戸市青少年健全育成「愛の一声」市民会議 実行委員
	野沢 宗巨	八戸市保育連合会 副会長	



令和6年度 八戸の社会教育

令和6年10月発行

編集 八戸市教育委員会 社会教育課

発行 八戸市教育委員会

〒031-8686

八戸市内丸一丁目1番1号

TEL 0178-43-9154

— 家庭教育充実のために —

# 八戸市子育て5か条

## 1. 一日のはじめは笑顔で「おはよう」

(にこやかな朝のあいさつは、家族のつながりを確かなものにします。)

## 1. 家族でしっかり「朝ごはん」

(心と体の健康は、みんなでいっしょの朝ごはんからはじまります。)

## 1. 子育ては 誉める・叱る・見守る・抱きしめる

(愛情をこめて育てることが大切です。)

## 1. 親から実行「社会のルール」

(親は子どものかがみです。子どもたちはよく見えています。)

## 1. 声かけよう 地域の未来 子どもたち

(自分の子どもと同じように地域の子どもたちにも接しましょう。)



八戸市家庭教育推進協議会 平成17年3月制定